

《第5次芦別市総合計画策定基礎調査資料》

芦別市まちづくり市民アンケート

調査結果報告書

平成21年3月

芦別市総務部企画課

目次

調査の概要

1 調査のあらまし	1
2 回答者の属性別内訳	2

設問別調査結果

1 芦別市の現状と定住意向について	
(1) 住みやすさ	3
(2) 定住意向	5
(3) 芦別市の現状（項目別満足度）	8
2 まちづくりの方向と市民参加について	
(1) まちづくりのキーワード	11
(2) 優先すべき住民サービス	13
(3) 市民参加の方法	15
3 芦別市の環境のあり方について	
(1) 芦別市全体の環境	17
(2) 芦別市の環境の現状（項目別満足度）	19
(3) 関心のある環境問題	22
(4) 日常生活における環境保全への取組	24
(5) 芦別市の守りたい環境と改善したい環境	26

資料

1 自由記述回答	29
----------	----

調査の概要

1 調査のあらまし

このアンケートは「第5次芦別市総合計画」の策定にあたり、市民の皆さんが本市をどのように認識・評価し、まちづくりの可能性や方向性を考えているのかを把握するために実施しました。

(1) 調査の方法

調査地域：芦別市全域

調査の対象：芦別市住民基本台帳からランダムに抽出された19歳以上の男女
(平成20年3月1日現在)

サンプル数：1,500人

調査方法：個人あての書面による郵送調査法(回答は無記名)

調査時期：平成20年3月

(2) 回収状況

配布数：1,500票

回収数：588票

回収率：39.2%

(3) 集計・表記方法

集計結果は、小数点第二位を四捨五入した百分率(%)で表示し、四捨五入の誤差より、単一選択の設問(SA)であっても構成比の和が100.0%にならないことがあります。

グラフや表にある記号は、それぞれ以下を示しています。

S A：選択肢の中から1つだけ選んで回答

2 L A：選択肢の中から2つまで選んで回答

3 L A：選択肢の中から3つまで選んで回答

M A：選択肢の中からすべてを選んで回答

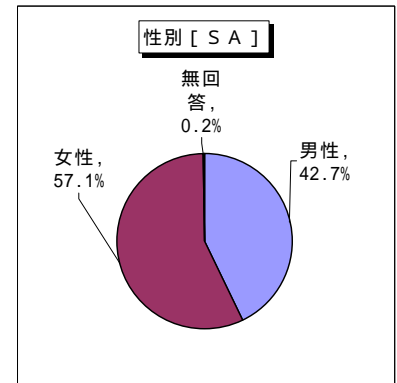
本文、グラフ及び表の選択肢の文言は、実際の調査票の文言を短縮しているものがあります。

自由記述回答については、記述事項を要約し、内容別に分類するとともに、類似回答数を()内に数値で示しています。

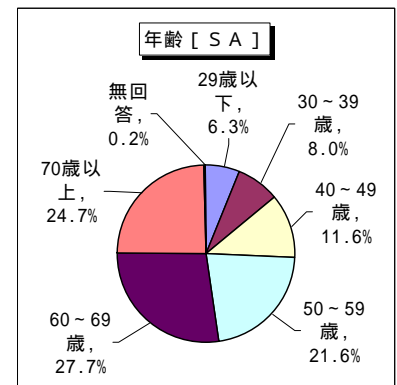
2 回答者の属性別内訳

合計		588人(100.0%)
----	--	--------------

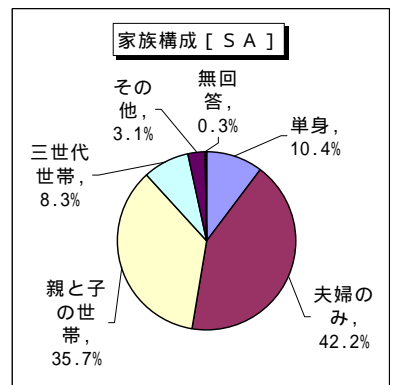
性別	男性	251人(42.7%)
	女性	336人(57.1%)
	無回答	1人(0.2%)



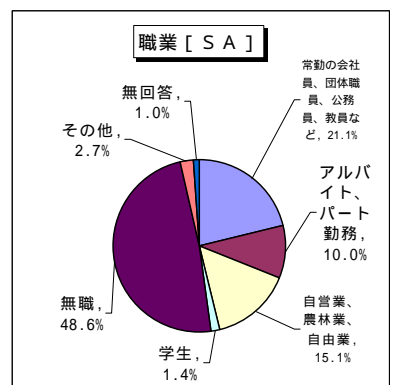
年齢	29歳以下	37人(6.3%)
	30～39歳	47人(8.0%)
	40～49歳	68人(11.6%)
	50～59歳	127人(21.6%)
	60～69歳	163人(27.7%)
	70歳以上	145人(24.6%)
	無回答	1人(0.2%)



家族構成	単身	61人(10.4%)
	夫婦のみ	248人(42.2%)
	親と子の世帯	210人(35.7%)
	三世帯世帯	49人(8.3%)
	その他	18人(3.1%)
	無回答	2人(0.3%)



職業	常勤の会社員、団体職員、公務員、教員など(役員を含む)	61人(10.4%)
	アルバイト・パート勤務	247人(42.0%)
	自営業、農業、自由業	210人(35.8%)
	学生	49人(8.3%)
	無職	19人(3.2%)
	その他	2人(0.3%)



設問別調査結果

1 芦別市の現状と定住意向について

(1) 住みやすさ

【問】芦別市は住みやすいと思いますか。あてはまる番号1つに 印をつけてください。

全体結果

芦別市の住みやすさについては、全体の25.2%が「住みやすい」、52.3%が「どちらかというに住みやすい」と回答し、この両方を合わせて77.5%の市民が住みやすいと評価している。また、15.5%が「どちらかというに住みにくい」、6.5%が「住みにくい」と回答しており、両方を合わせて22%が住みにくいと感じている。

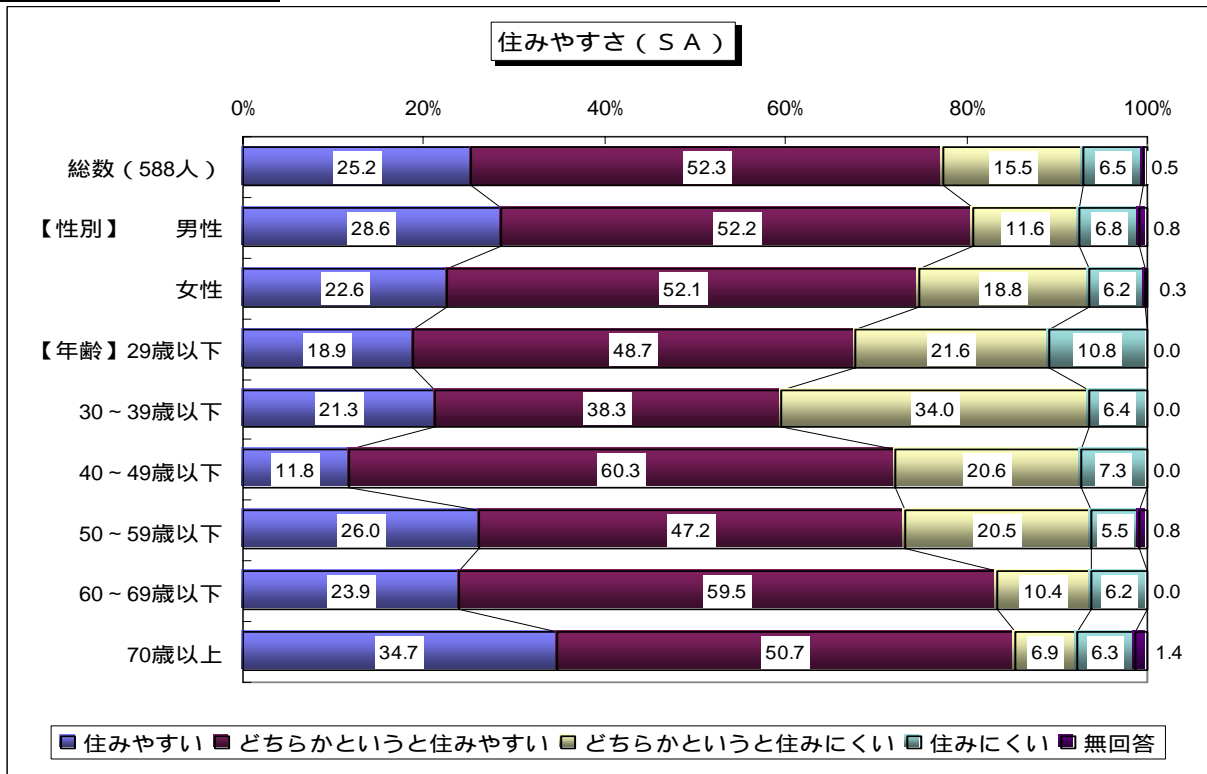
前回(平成9年)調査との比較

- 住みやすいと感じている人の割合 -

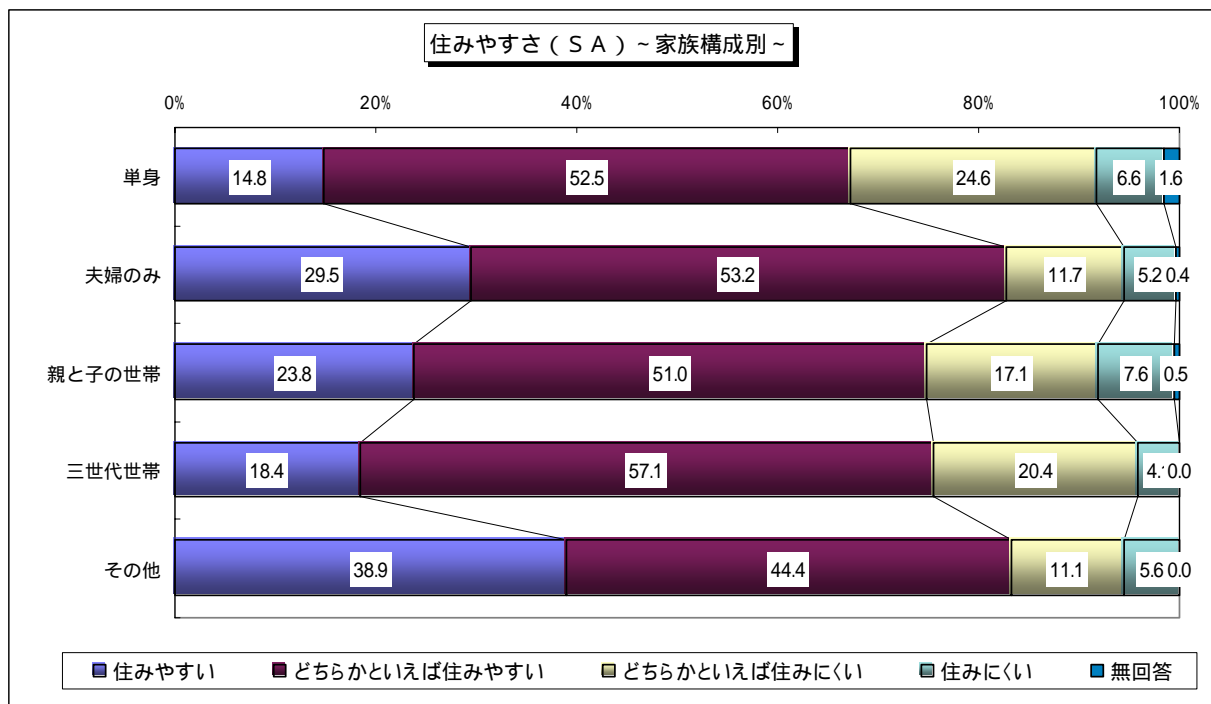
[単位: %]

住みやすさ	総数	男性	女性	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
H20	77.5	80.8	74.7	67.6	59.6	72.1	73.2	83.4	85.4
H9	79.2	78.2	80.0	58.3	65.9	75.0	76.9	88.6	90.7

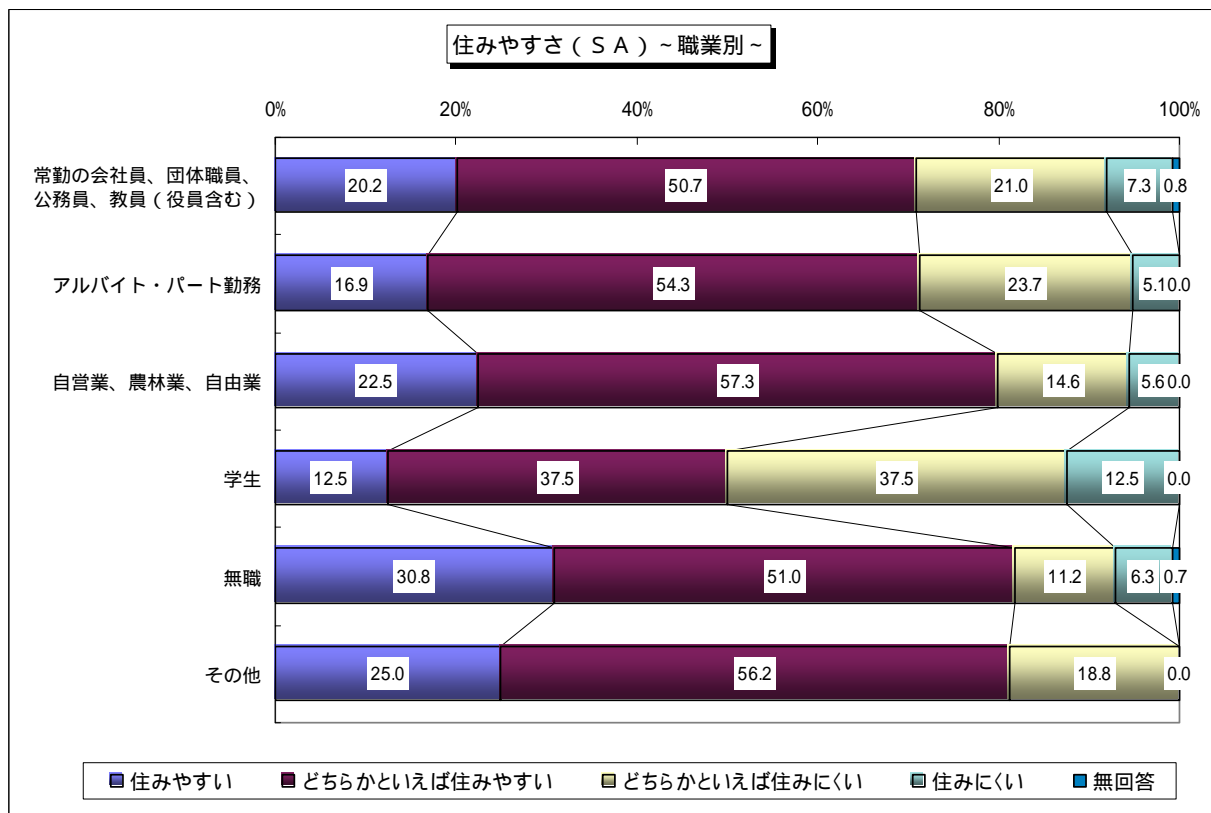
グラフで見る集計結果



年代別にみると、どの年代でも50%以上が「住みやすい」と感じており、評価は年代が上がるにつれて高まり、70歳以上では85.4%が「住みやすい」と感じている。また、30代は59.6%が「住みやすい」と感じているのに対し、29歳以下が67.6%と20代が30代を上回っている。



家族構成別にみると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせ、総数の 77.5% が「住みやすい」と感じているのに対し、単身世帯で「住みやすい」と感じている人の割合は 67.3%と低くなっている。



職業別にみると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせ、無職の方で「住みやすい」と感じている人は 81.8%と最も多く、これに対し、学生は「住みやすい」と感じている人は 50%と大幅に少ない。

(2) 定住意向

【問】あなたはこれからも芦別市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号1つに 印をつけてください。

全体結果

芦別市での今後の定住意向については、60.9%が「今の場所に住み続けたい」、また、7.0%が「市内の別の場所に移りたい」と回答し、この両者を合わせ全体の 67.9%が市内での定住を希望している。これに対し 14.5%が市外への転出を望んでいる。

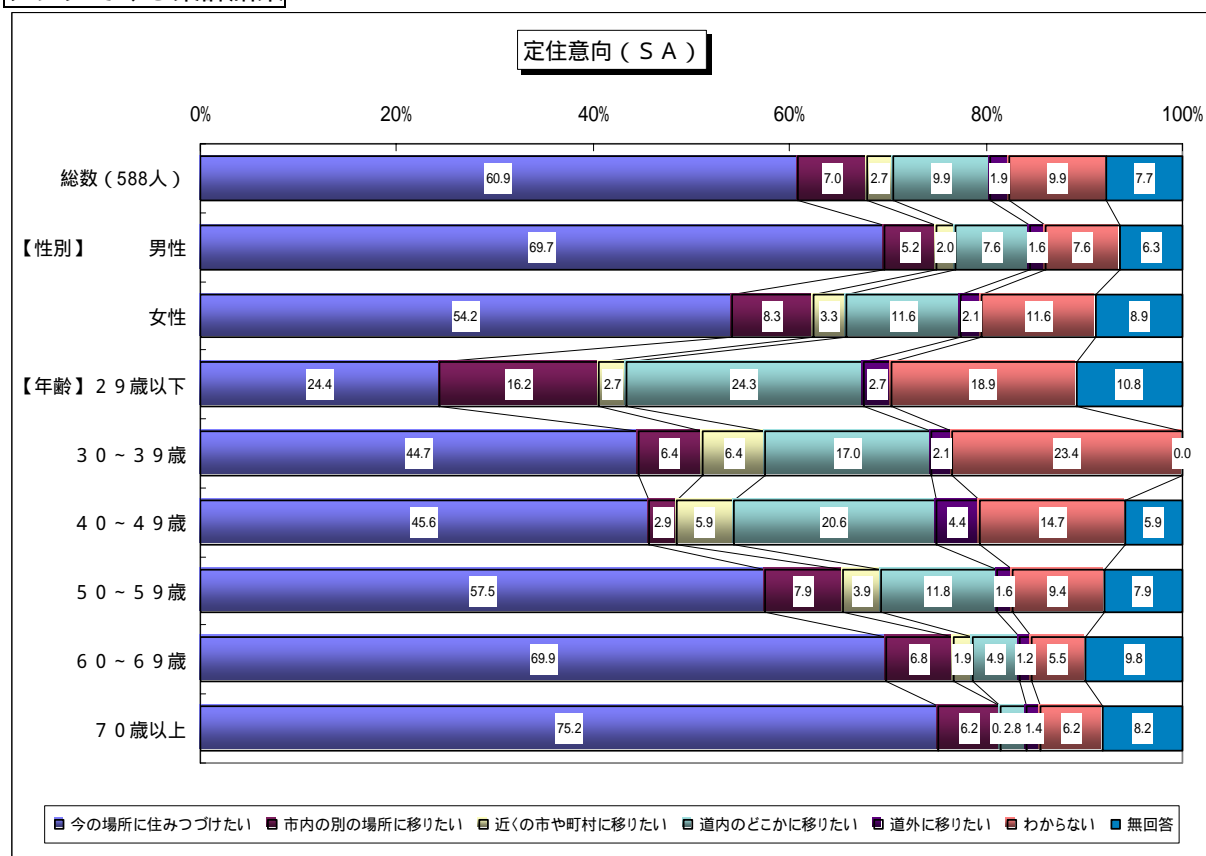
前回(平成9年)調査との比較

- 住み続けたいと思っている人の割合 -

[単位: %]

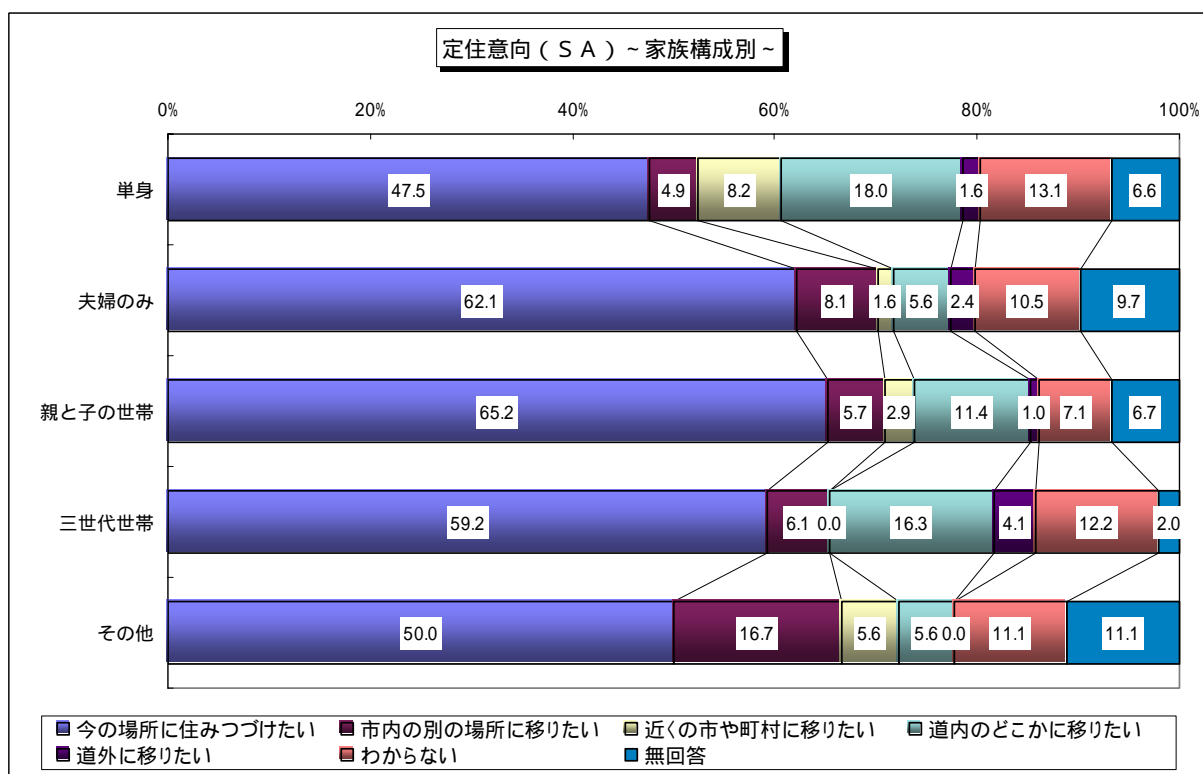
定住意向	総数	男性	女性	29歳以下	30代	40代	50代	60代	70歳以上
H20	67.9	74.9	62.5	40.6	51.1	48.5	65.4	76.7	81.4
H9	81.2	82.4	80.0	54.1	67.0	74.2	83.2	90.1	94.0

グラフでみる集計結果

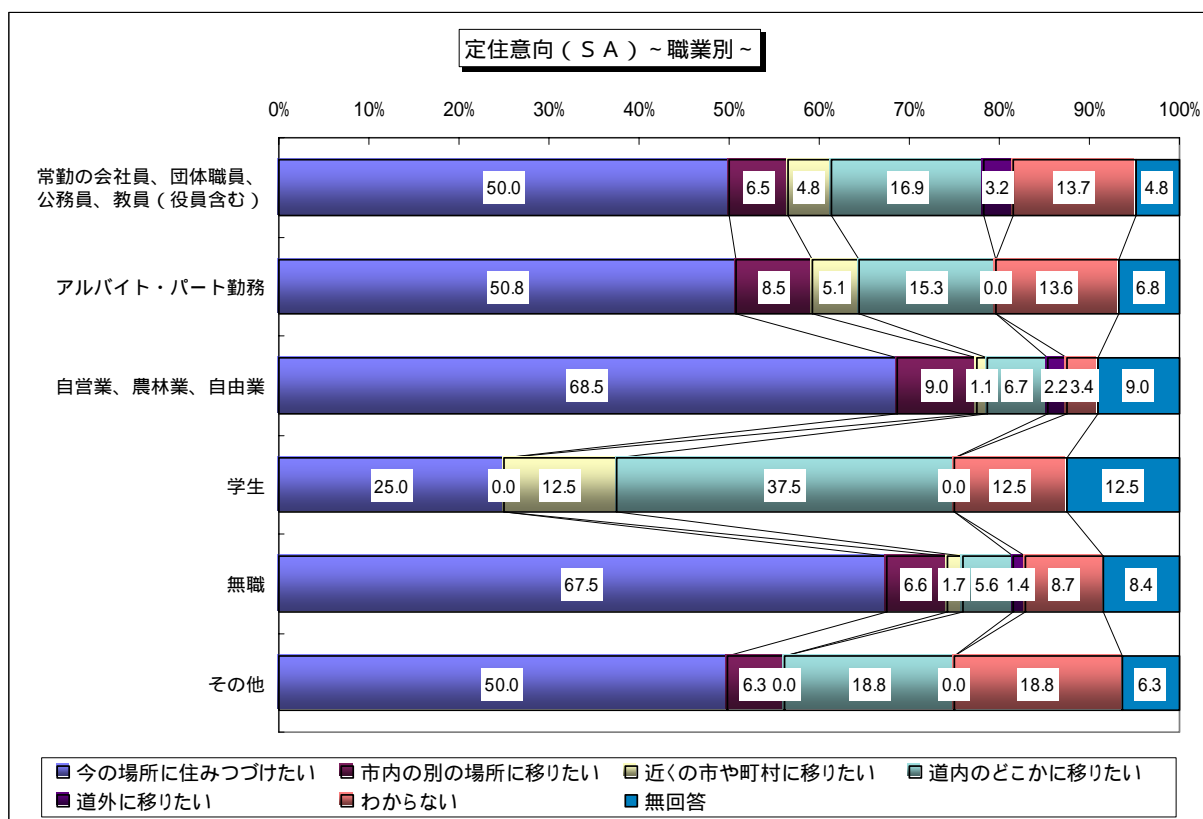


男女別にみると、市内での定住を望んでいるのは男性が 74.9%、女性が 62.5%となっており、女性よりも男性の方の定住意向が強い。

年代別にみると、定住意向は年代が高くなるにつれて強まり、70歳以上の定住意向は 81.4%となっている。これに対し 29歳以下は 40.6%で、70歳以上の定住意向の半数となっている。また、50歳を境にして定住意向が大幅に強くなっている。



家族構成別にみると、「夫婦のみ世帯」「親と子の世帯」「三世帯世帯」では、約70%が定住を望んでいるが、「単身世帯」では約52.4%と他に比べて低い数値となっている。



職業別にみると、「自営業、農林業、自由業」及び「無職」の定住意向が約75%であるのに対し、「学生」の定住意向は25%と低い数値になっている。

< 住みたい場所（記述項目） >

区分	市内のどこか		近くの市町村	
場所	病院が近いところ	9	旭川市	9
	店（スーパー）の近いところ	7	滝川市	6
	交通の便の良いところ	4	富良野市	5
	市街地	2	岩見沢市	
	国道沿い	2	深川市	
	市営住宅	2		
	家賃が安いところ	2		
	本町地区			
	インターネットができるところ			
	新しい団地			
	市内のどこか			
	コンビニの近く			

区分	道内のどこか		道外	その他	
場所	札幌市	3 6	東京都	雪の少ないところ	3
	江別市	2	千葉県	仕事のあるところ	3
	函館市		沖縄県	医療機関が充実したところ	2
	千歳市		東北の生まれ故郷	子どもいるところの近く	2
	帯広市		暖かいところ	大都会以外	
	小樽市			豊かなまち	
	北広島市			税金の少ないまち	
	留萌市			除雪がされる場所	
	伊達市			便利なところ	
	白老町			親と別居したい 郊外	

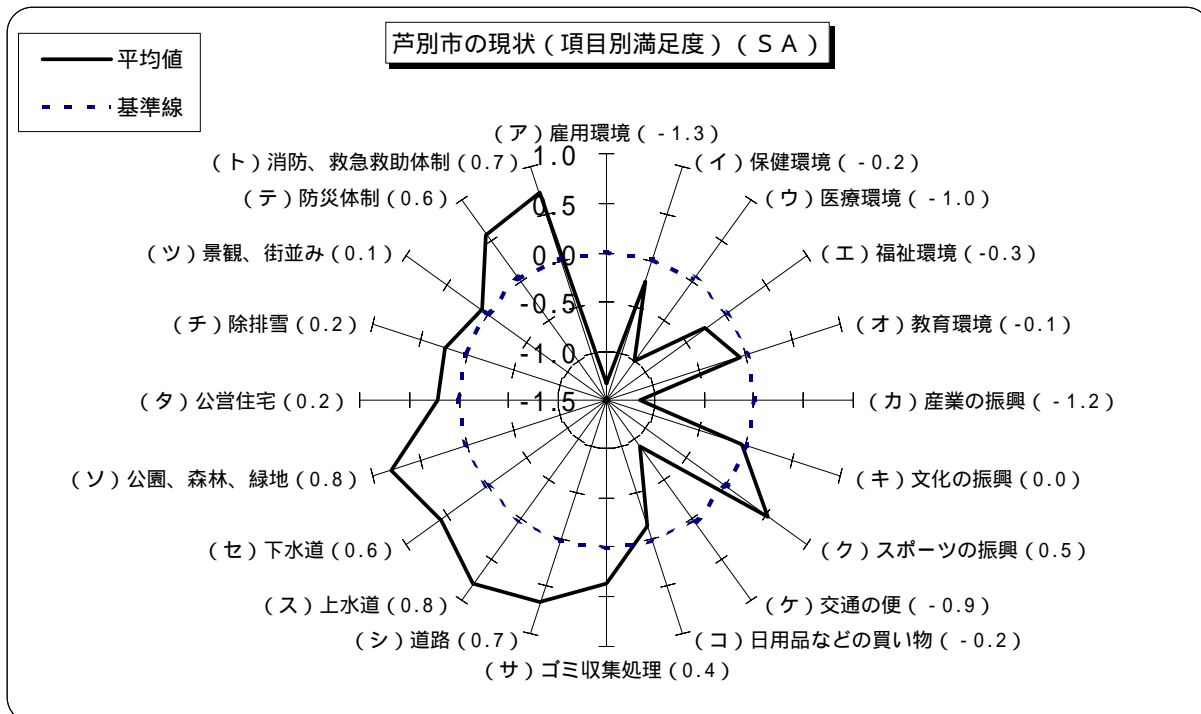
(3) 芦別市の現状（項目別満足度）

【問】芦別市の現状についてどのように感じていますか。次の各項目について、あなたのお考えに近いものそれぞれ1つに 印をつけてください。

全体結果

芦別市の現状に対する満足度は、「満足」と「やや満足」の回答を合わせて『満足』とし、「不満」と「やや不満」の回答を合わせて『不満』と判断した場合に、20項目のうち12項目が「満足」、8項目が「不満」として評価された。満足度が最も高いのは「上水道」「公園・森林・緑地」で、以下「道路」「消防、救急救助体制」「下水道」「防災体制」の順となっている。一方、満足度が最も低いのは「雇用環境」で、以下「産業の振興」「医療環境」「交通の便」の順となっている。属性別（性別、年齢別、家族構成別、職業別）にみた場合も、全体結果とほぼ同様の結果となっており、「満足」や「不満」と感じる上位項目は全てきん差になっている。

下記の項目別満足度指標（パラメータ）をみても、右側に位置しソフト面が多い特性を有する項目は満足度が低く、左側に位置し都市機能やハード面が多い特性を有する項目は満足度が高い結果となっている。



(ア) から (ト) の項目ごとに、「満足」に +2、「やや満足」に +1、「やや不満」に -1、「不満」に -2 の加重値を与え、平均値により比較しました。0 で結ぶ基準線に対して、その外側ほど満足度が高く、内側ほど不満度が高いことを表しています。

「性別」でみる項目別満足度

性別		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	男性	上水道	168	67.0%	公園・森林・緑地	165	65.7%	道路	159	63.3%
	女性	道路	213	63.4%	公園・森林・緑地	208	61.9%	ゴミ収集処理	194	57.7%
不満	男性	雇用環境	175	69.7%	医療環境	167	66.6%	産業の振興	166	66.2%
	女性	医療環境	244	72.6%	交通の便	234	69.7%	雇用環境	211	62.8%

「年齢別」でみる項目別満足度

年代		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	29歳以下	公園・森林・緑地	27	73.0%	道路	26	70.3%	スポーツの振興	23	62.1%
	30～39歳	道路	35	74.5%	公園・森林・緑地	34	72.3%	上水道	29	61.7%
	40～49歳	公園・森林・緑地	53	77.9%	道路	46	67.7%	上水道	43	63.2%
	50～59歳	公園・森林・緑地	82	64.5%	道路	79	62.2%	上水道	76	59.8%
	60～69歳	公園・森林・緑地	111	68.1%	上水道	110	67.5%	道路	106	65.1%
	70歳以上	道路	81	55.8%	上水道	80	55.2%	ゴミ収集処理	76	52.4%
不満	29歳以下	医療環境	31	83.8%	交通の便	30	81.1%	雇用環境	26	70.2%
	30～39歳	医療環境	40	85.1%	雇用環境	36	76.6%	交通の便	35	74.5%
	40～49歳	医療環境	61	89.7%	雇用環境	59	86.8%	交通の便	56	82.3%
	50～59歳	雇用環境	102	80.3%	医療環境	101	79.5%	交通の便	88	69.3%
	60～69歳	雇用環境	104	63.8%	医療環境	103	63.2%	交通の便	99	60.7%
	70歳以上	交通の便	82	56.5%	医療環境	76	52.4%	日用品などの買い物	62	42.7%

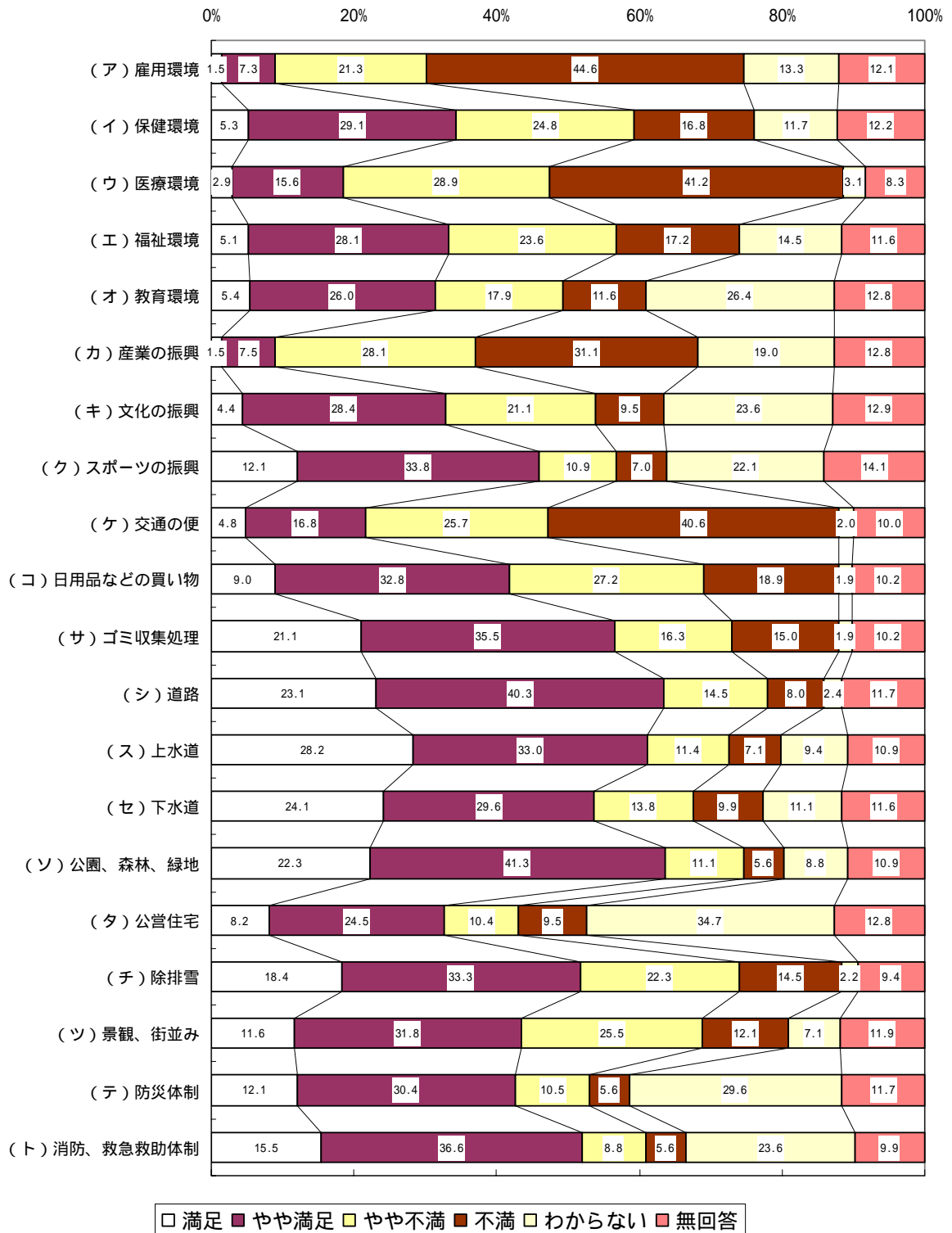
「家族構成」でみる項目別満足度

家族構成		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	単身	道路	41	67.2%	公園・森林・緑地	40	65.5%	ゴミ収集処理	37	60.7%
	夫婦のみ	道路	150	60.5%	公園・森林・緑地	149	60.1%	上水道	146	58.8%
	親と子の世帯	公園・森林・緑地	141	67.1%	上水道	140	66.6%	道路	139	66.1%
	三世帯世帯	公園・森林・緑地	34	69.4%	道路	33	67.4%	除排雪	32	65.3%
	その他	消防・救急救助体制	12	66.7%	ゴミ収集処理	11	55.5%	道路・除排雪 防災体制	10	55.6%
不満	単身	交通の便	45	73.8%	医療環境	44	72.1%	雇用環境	36	59.0%
	夫婦のみ	医療環境	149	60.1%	雇用環境	147	59.3%	交通の便	143	57.7%
	親と子の世帯	医療環境	161	76.7%	雇用環境	154	73.3%	交通の便	152	72.4%
	三世帯世帯	医療環境	45	91.9%	雇用環境	39	79.6%	交通の便	39	79.6%
	その他	産業の振興	14	77.7%	医療環境	12	66.7%	雇用環境	11	61.1%

「職業別」でみる項目別満足度

職業		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	常勤の会社員、団体職員、 公務員、教員など(役員含む)	公園・森林・緑地	86	69.4%	道路	76	61.2%	上水道	75	60.5%
	アルバイト・パート勤務	道路	41	69.5%	公園・森林・緑地	40	67.8%	上水道	38	64.4%
	自営業、農林業、自由業	公園・森林・緑地	65	73.1%	道路	62	69.6%	除排雪	60	67.4%
	学生	道路	8	100.0%	公園・森林・緑地	7	87.5%	ゴミ収集処理	7	87.5%
	無職	道路	175	61.2%	公園・森林・緑地	163	57.0%	ゴミ収集処理	160	55.9%
	その他	上水道	11	68.8%	ゴミ収集処理	10	62.5%	下水道 公園・森林・緑地	9	56.3%
不満	常勤の会社員、団体職員、 公務員、教員など(役員含む)	医療環境	110	88.8%	雇用環境	103	83.0%	交通の便	100	80.7%
	アルバイト・パート勤務	医療環境	42	71.2%	雇用環境	37	62.7%	交通の便	35	39.3%
	自営業、農林業、自由業	雇用環境	69	77.5%	医療環境	64	71.9%	産業の振興	59	66.3%
	学生	交通の便	8	100.0%	産業の振興	6	75.0%	雇用・医療環境 景観、街並み	5	62.5%
	無職	交通の便	180	62.9%	医療環境	175	61.2%	雇用環境	157	54.9%
	その他	医療環境	13	81.3%	雇用環境	12	75.1%	産業の振興	11	68.8%

芦別市の現状（項目別満足度）（S A）



2 まちづくりの方向と市民参加について

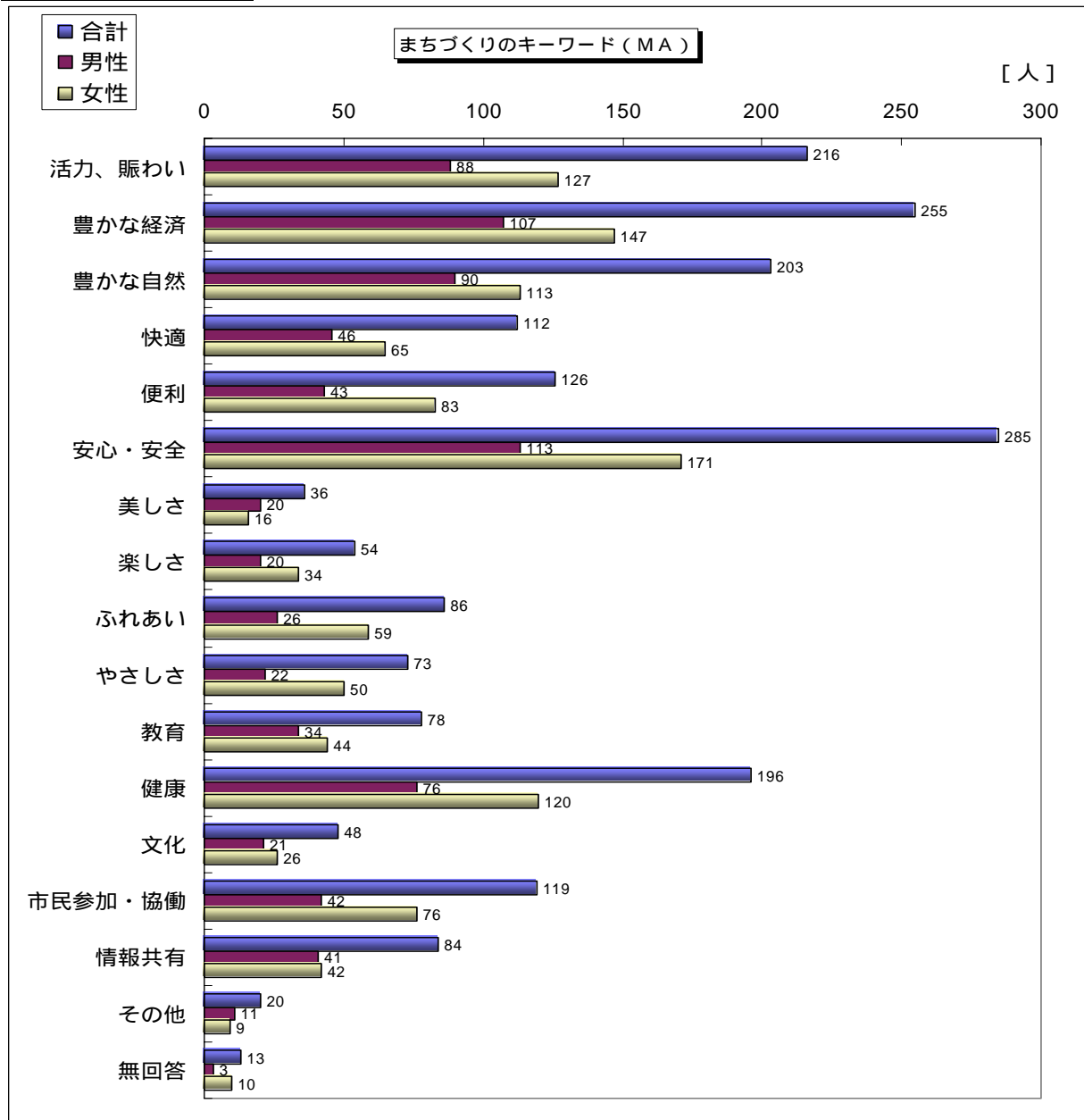
(1) まちづくりのキーワード

【問】今後の芦別市の“まちづくり”を表す「言葉（キーワード）」として、あなたが重視すべきと思うものの番号に 印をつけてください。（複数回答可）

全体結果

今後のまちづくりで重視すべきキーワードとしては、「安心・安全」が最も多く、以下「豊かな経済」「活力、賑わい」「豊かな自然」「健康」の順となっており、この5項目が大多数を占めている。「安心・安全」は回答者数の約半数を占めており、市民の2人に1人は「安心・安全」なまちづくりを望んでいると言える。

グラフでみる集計結果



「年齢別」でみるまちづくりのキーワード

年代	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
29歳以下	豊かな経済	20	13.2%	活力・賑わい	19	12.5%	豊かな自然	17	11.2%
30～39歳	安心・安全	26	14.9%	豊かな経済	23	13.2%	活力・賑わい	18	10.3%
40～49歳	豊かな経済	33	14.5%	安心・安全	27	11.9%	活力・賑わい	26	11.5%
50～59歳	安心・安全	63	15.8%	豊かな経済	59	14.8%	活力・賑わい	47	11.8%
60～69歳	安心・安全	81	15.1%	豊かな経済	72	13.4%	健康	61	11.3%
70歳以上	安心・安全	73	14.5%	健康	65	12.9%	豊かな自然	49	9.8%

「家族構成別」でみるまちづくりのキーワード

家族構成	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
単身	安心・安全	25	12.1%	活力・賑わい	23	11.1%	豊かな経済	23	11.1%
夫婦のみ	安心・安全	122	14.9%	豊かな経済	109	13.3%	活力・賑わい	96	11.7%
親と子の世帯	安心・安全	101	13.6%	豊かな経済	90	12.1%	活力・賑わい	80	10.8%
三世帯世帯	安心・安全	25	14.7%	豊かな経済	22	12.9%	豊かな自然	19	11.2%
その他	安心・安全	12	19.7%	豊かな経済	10	16.4%	健康	8	13.1%

「職業別」でみるまちづくりのキーワード

職業	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
常勤の会社員、団体職員、 公務員、教員など（役員含む）	安心・安全	62	13.7%	豊かな経済	60	13.2%	活力・賑わい	53	11.7%
アルバイト・パート勤務	豊かな経済	32	18.2%	安心・安全	21	11.9%	活力・賑わい	18	10.2%
自営業、農林業、自由業	豊かな経済	41	13.3%	安心・安全	40	12.9%	活力・賑わい	35	11.3%
学生	豊かな自然	6	21.4%	活力・賑わい	4	14.3%	便利	3	10.7%
無職	安心・安全	149	15.6%	豊かな経済	110	11.5%	健康	108	11.3%
その他	安心・安全	10	15.2%	活力・賑わい	8	12.1%	豊かな経済	8	12.1%

これからの「まちづくりのキーワード」を年齢別、家族構成別、職業別でみた場合、どの種別でも「安心・安全」が最も多く、これに次いで「豊かな経済」「活力・賑わい」が多かった。

誰もが安心して安全に暮らせる生活環境の確保と、低迷する本市経済の振興、地域の活性化が望まれている。

年齢別では、年齢が高齢になるにつれ、「健康」を重視すべきという意見が多くなっている。

その他、本市が有する「豊かな自然」をキーワードとすべき意見も多かった。

その他の回答

環境	3	雇用	
スポーツ振興	2	交通	
医療充実		豊かな心	

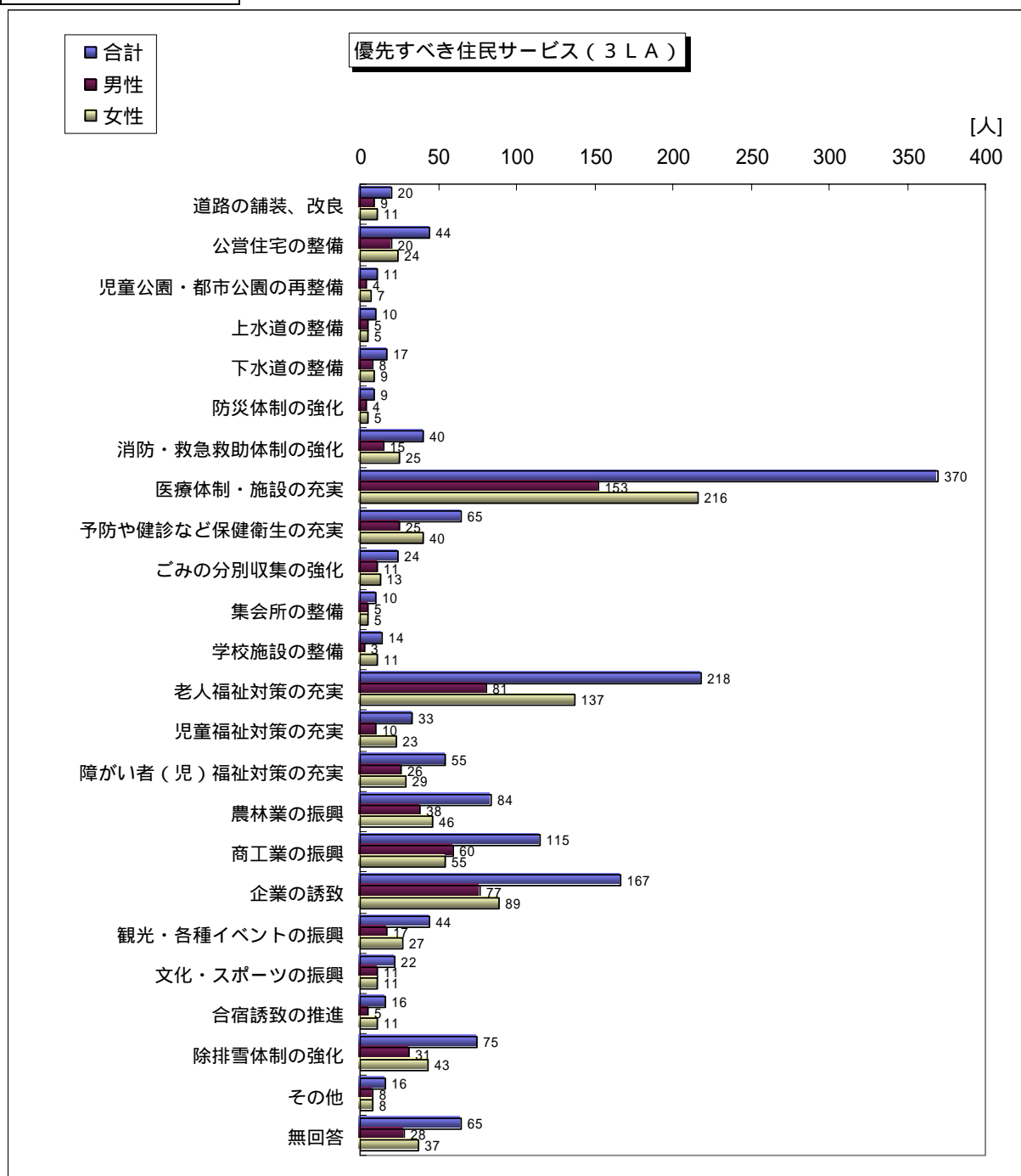
(2) 優先すべき住民サービス

【問】あなたは今後5年ぐらいの間に、どの住民サービスを重視して取り組むべきと思いますか。
優先すべきものを3つまで選んで番号に 印をつけてください。

全体結果

今後優先的に取り組むべき住民サービスとしては、「医療体制・施設の充実」が突出しており、次いで「老人福祉対策の充実」「企業の誘致」「商工業の振興」「農林業の振興」の順となった。高齢化に対応した医療・福祉の充実、低迷する経済・雇用対策を優先すべきとの意向が強かった。

グラフでみる集計結果



「年齢別」にみる優先すべき住民サービス

年代	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
29歳以下	医療体制・施設の充実	22	22.0%	観光・各種イベントの振興	9	9.0%	企業の誘致	8	8.0%
30～39歳	医療体制・施設の充実	34	24.5%	企業の誘致	15	10.8%	老人福祉対策の充実	14	10.1%
40～49歳	医療体制・施設の充実	46	26.1%	企業の誘致	24	13.6%	老人福祉対策の充実	19	10.8%
50～59歳	医療体制・施設の充実	81	24.0%	企業の誘致	41	12.2%	老人福祉対策の充実	41	12.2%
60～69歳	医療体制・施設の充実	100	22.8%	老人福祉対策の充実	66	15.1%	企業の誘致	50	11.4%
70歳以上	医療体制・施設の充実	87	24.6%	老人福祉対策の充実	72	20.4%	除排雪体制の強化	32	9.1%

「家族構成別」にみる優先すべき住民サービス

家族構成	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
単身	医療体制・施設の充実	35	21.3%	老人福祉対策の充実	25	15.2%	企業の誘致	19	11.6%
夫婦のみ	医療体制・施設の充実	151	23.7%	老人福祉対策の充実	108	16.9%	企業の誘致	67	10.5%
親と子の世帯	医療体制・施設の充実	142	25.3%	企業の誘致	63	11.2%	老人福祉対策の充実	61	10.9%
三世帯世帯	医療体制・施設の充実	32	25.0%	老人福祉対策の充実	16	12.5%	企業の誘致	13	10.2%
その他	医療体制・施設の充実	10	20.4%	老人福祉対策の充実	7	14.3%	企業の誘致	5	10.2%

「職業別」にみる優先すべき住民サービス

職業	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
常勤の会社員、団体職員、公務員、教員など（役員含む）	医療体制・施設の充実	91	26.3%	企業の誘致	46	13.3%	老人福祉対策の充実	35	10.1%
アルバイト・パート勤務	医療体制・施設の充実	39	24.7%	老人福祉対策の充実	23	14.6%	企業の誘致	18	11.4%
自営業、農林業、自由業	医療体制・施設の充実	47	20.9%	商工業の振興	29	12.9%	農林業の振興	28	12.4%
学生	医療体制・施設の充実	4	19.0%	観光・各種イベントの振興	3	14.3%	老人福祉対策の充実	2	9.5%
無職	医療体制・施設の充実	181	24.3%	老人福祉対策の充実	133	17.9%	企業の誘致	71	9.5%
その他	医療体制・施設の充実	7	18.9%	企業の誘致	6	16.2%	無回答	5	13.5%

学生の3位は「児童福祉対策の充実」「農林業の振興」「商工業の振興」「企業の誘致」が同順位

「優先すべき住民サービス」を年齢別、家族構成別、職業別でみた場合、全ての種別項目において「医療体制・施設の充実」が最も多く、市民の健康を守る地域医療の充実を望んでいる。これに次いで「老人福祉対策の充実」「企業の誘致」が多く、各種別でみた場合でも、全体結果とほぼ同じ結果となった。

その他の回答

市外者の受入施設の充実 除雪体制の強化 諸企業の充実強化 交通体系の充実 教員住宅の整備 人口増加の方策	雇用対策 人口規模に合わせた制度の再構築 介護施設の充実（市外からの受入れ） インターネットのブロードバンド化 ユニバーサルデザインを取り入れた街づくり
---	--

(3) 市民参加の方法

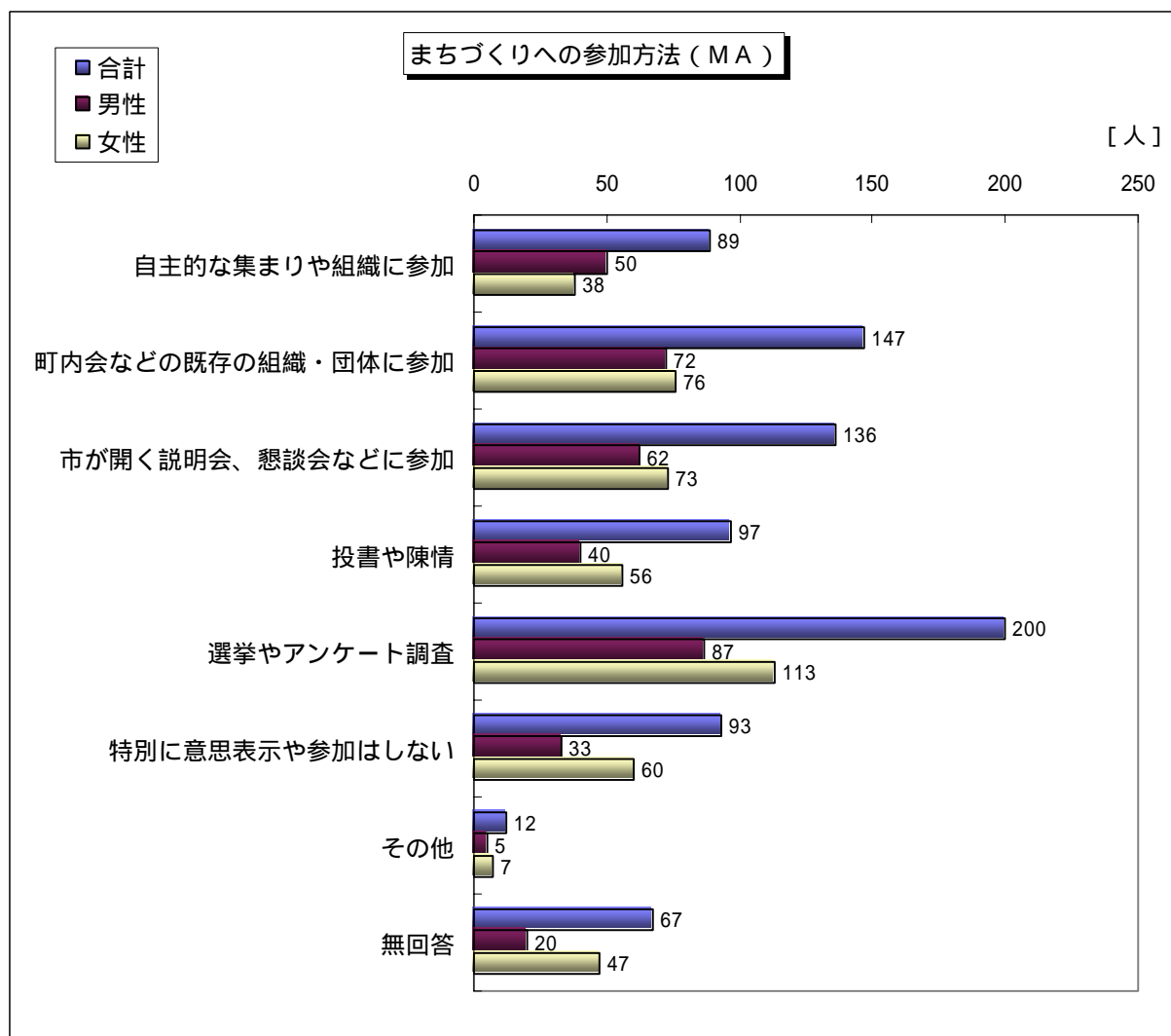
【問】地方分権の推進により、「まちづくり」は行政だけでなく市民の皆さんの参加のもと進めなければなりません。もし、あなたが「まちづくり」に参加するとしたらどのような形で参加できますか。あてはまる番号に 印をつけてください。(複数回答可)

全体結果

まちづくりへの参加方法としては、「選挙やアンケートなどで意思表示」が最も多く挙げられ、以下「町内会などの既存の組織・団体に参加」「市が開く説明会、懇談会などに参加」の順となっている。選挙やアンケートなど間接的で参加しやすい手法が最も支持されたものの、町内会や既存組織への参加をはじめ、主体的・直接的な手法も志向されている。

「特別に意思表示や参加はしない」という回答者は、全 588 人中 93 人おり、全体の約 20%がまちづくりへの参加の意識が低いと捉えられる。

グラフでみる集計結果



「年齢別」でみるまちづくりへの参加方法

年代	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
29歳以下	選挙やアンケート調査	23	44.2%	投書や陳情	8	15.4%	市が開く説明会・公聴会 意思表示や参加はしない	6	11.5%
30～39歳	選挙やアンケート調査	24	32.9%	投書や陳情	18	24.7%	町内会や各種団体を活用	10	13.7%
40～49歳	選挙やアンケート調査	32	32.3%	投書や陳情	21	21.2%	町内会や各種団体を活用 市が開く説明会・公聴会	13	13.1%
50～59歳	選挙やアンケート調査	50	27.2%	市が開く説明会・公聴会	33	17.9%	町内会や各種団体を活用	30	16.3%
60～69歳	町内会や各種団体を活用	57	24.5%	市が開く説明会・公聴会	47	20.2%	選挙やアンケート調査	42	18.0%
70歳以上	市が開く説明会・公聴会	34	17.0%	町内会や各種団体を活用	33	16.5%	意思表示や参加はしない	30	15.0%

「家族構成別」でみるまちづくりへの参加方法

家族構成	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
単身	選挙やアンケート調査	22	27.2%	意思表示や参加はしない	14	17.3%	町内会や各種団体を活用	10	12.3%
夫婦のみ	町内会や各種団体を活用	75	21.2%	選挙やアンケート調査	74	21.0%	市が開く説明会・公聴会	62	17.6%
親と子の世帯	選挙やアンケート調査	77	24.8%	市が開く説明会・公聴会	52	16.8%	投書や陳情	48	15.5%
三世帯世帯	選挙やアンケート調査	21	29.6%	町内会や各種団体を活用	14	19.7%	まちづくりの自主的団体 投書や陳情	11	15.5%
その他	市が開く説明会・公聴会	7	28.0%	選挙やアンケート調査	6	24.0%	まちづくりの自主的団体 町内会や各種団体を活用	3	12.0%

「職業別」でみるまちづくりへの参加方法

職業	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
常勤の会社員、団体職員、 公務員・教員など(役員含む)	選挙やアンケート調査	61	32.4%	投書や陳情	32	17.0%	町内会や各種団体を活用	30	16.0%
アルバイト・パート勤務	選挙やアンケート調査	20	25.0%	市が開く説明会・公聴会	15	18.8%	意思表示や参加はしない	14	17.5%
自営業、農林業、自由業	町内会や各種団体を活用	33	23.1%	選挙やアンケート調査	32	22.4%	市が開く説明会・公聴会	22	15.4%
学生	選挙やアンケート調査	5	41.7%	投書や陳情	2	16.7%	まちづくりの自主的団体	2	16.7%
無職	選挙やアンケート調査	75	19.2%	町内会や各種団体を活用	72	18.4%	市が開く説明会・公聴会	70	17.9%
その他	「町内会や各種団体を活用」「市が開く説明会・公聴会」「選挙やアンケート調査」「意思表示や参加はしない」同順位 4 / 18.2%								

「まちづくりへの参加の方法」を年齢別、家族構成別、職業別でみた場合、どの種別でも「選挙やアンケート調査」が最も多く、これに次いで「町内会などの既存の組織・団体に参加」「市が開く説明会、懇談会などに参加」「投書や陳情」などが多かった。

年齢別にみると、50歳未満の市民参加の方法は「選挙やアンケート調査」「投書や陳情」が1位・2位を占めており、間接的で参加しやすい手法が好まれている。これに対し、50歳以上の年齢では「町内会などの既存の組織・団体に参加」「市が開く説明会、懇談会などに参加」など、直接的な参加方法を選んでおり、年代によるまちづくりへの参加方法の違いがはっきりと現れている。

その他の回答

市議会議員を通じて意見を述べる 市民参加をゲーム的な感覚で	市民になぜ協働でなければならないのか伝えるべき 団体組織の委員を3年毎に変えるべき。マンネリ化している
----------------------------------	--

3 芦別市の環境のあり方について

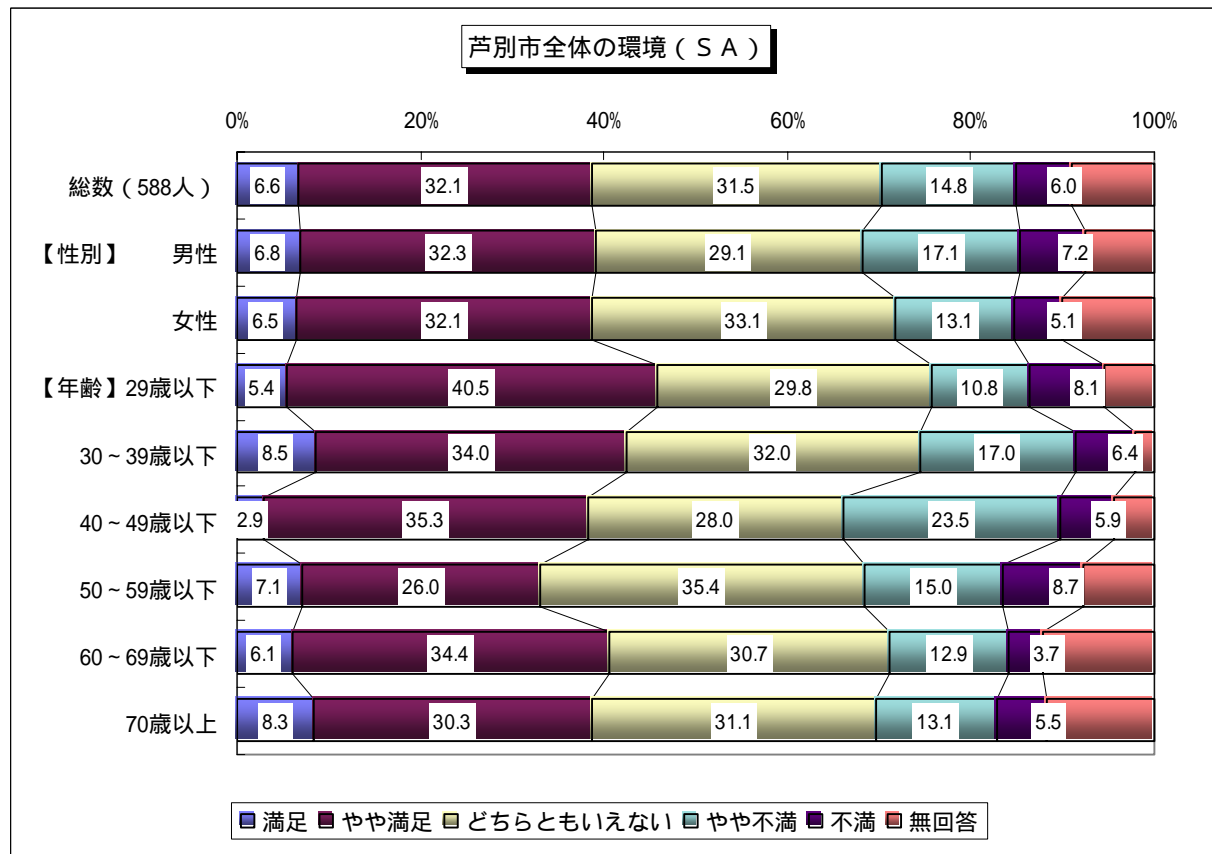
(1) 芦別市全体の環境

【問】芦別市全体の環境についてどのように感じていますか。あてはまる番号1つに 印をつけてください。

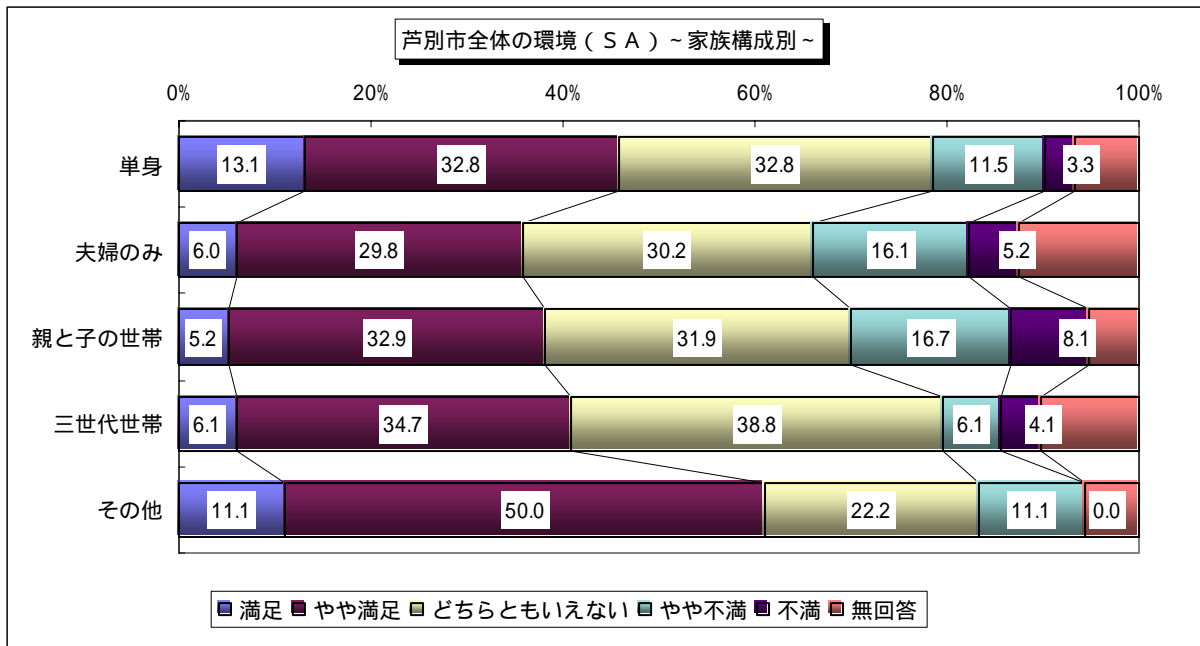
全体結果

芦別市全体の環境については、全体の 6.6%が「満足」、32.1%が「やや満足」と回答し、この両方を合わせて 38.7%が芦別市の環境に満足している。一方、14.8%が「やや不満」、6.0%が「不満」と回答しており、この両方を合わせて 20.8%が芦別市の環境に対して不満を持っているが、「どちらともいえない」の回答 31.5%を除いても、満足が不満を上回った結果となっている。

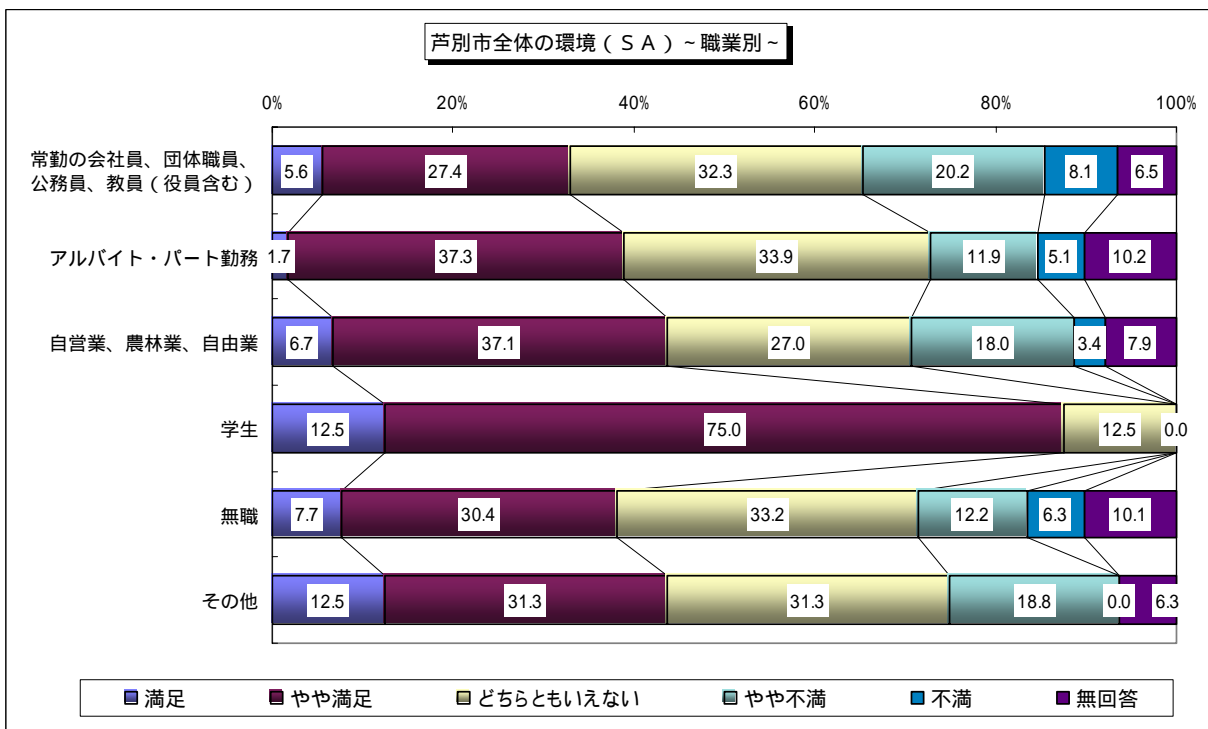
グラフで見る集計結果



年代別にみると、29歳以下の満足度が最も高く、「満足」と「やや満足」の回答を合わせて 45.9%が満足という結果になっている。以降、年代が上がるに連れ満足度は低くなり、50代では 33.1%と最も低い満足度となっている。また、最も不満度が高かったのは40代の 29.4%となっている。



家族構成別にみると、単身世帯の満足度が最も高く、「満足」と「やや満足」の回答を合わせて45.9%が満足という結果になっている。また、最も不満度が高かったのは親と子の世帯で、24.8%が不満に感じている。



職業別にみると、学生の満足度が最も高く、「満足」と「やや満足」の回答を合わせて87.5%が満足という結果になっている（学生回答者：8人）。学生を除けば自営業、農林業、自由業が最も満足度が高く43.8%となっている。最も不満度が高かったのは常勤の会社員、団体職員、公務員、教員（役員含む）で、28.3%が不満に感じている。

(2) 芦別市の環境の現状（項目別満足度）

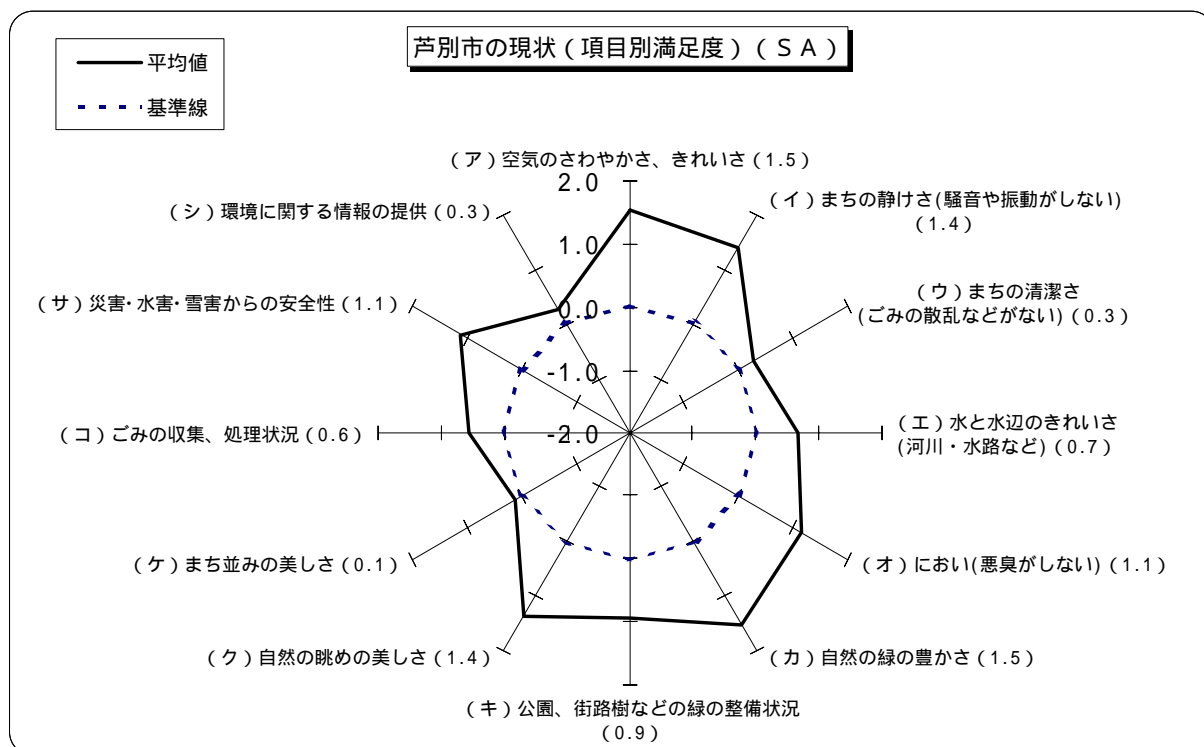
【問】身のまわりの環境に関してどのように感じていますか。次の表の項目について、あてはまる番号1つに 印をつけてください。

全体結果

芦別市の環境の現状に対する満足度は、下記の全12項目において基準値を上回り、全て「満足」という結果になった。中でも満足度が高かったのは「空気のさわやかさ、きれいさ」「まちの静けさ（騒音や振動がしない）」「自然の緑の豊かさ」「自然の眺めの美しさ」となっており、芦別市の環境の良さが評価されている。一方、平均値は上回っているものの、他の項目に比べ低い数値となっているのは「まちの清潔さ（ごみの散乱などがない）」「まち並みの美しさ」「環境に関する情報の提供」となっており、人的効力による項目が低く、今後取り組む課題が浮き彫りになってきている。

属性別（性別、年代別、家族構成別、職業別 9頁参照）にみた場合も、全体結果とほぼ同様の結果となっている。性別では第1位から第3位までの項目全てが同じ内容となっており、市民の環境に対する思いや考え方は、ある程度一致しているものと考えられる。

下記の項目別満足度指標（パラメータ）をみても、自然的環境については満足度が高いが、人的効力に影響される環境項目は低い満足度となっている。



(ア) から (ト) の項目ごとに、「満足」に + 2、「やや満足」に + 1、「やや不満」に - 1、「不満」に - 2 の加重値を与え、平均値により比較しました。0 で結ぶ基準線に対して、その外側ほど満足度が高く、内側ほど不満度が高いことを表しています。

「性別」でみる環境の項目別満足度

性別		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	男性	空気のさわやかさ きれいさ	205	81.7%	自然の緑の豊かさ	204	81.3%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	193	76.9%
	女性	空気のさわやかさ きれいさ	267	79.4%	自然の緑の豊かさ	252	75.0%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	236	70.2%
不満	男性	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	74	29.5%	まち並みの美しさ	68	27.1%	ごみの収集、処理	54	21.5%
	女性	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	85	25.3%	まち並みの美しさ	70	20.8%	ごみの収集、処理	63	18.7%

「年代別」でみる環境の項目別満足度

年代		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	29歳以下	自然の緑の豊かさ	34	91.9%	空気のさわやかさ きれいさ	32	86.4%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	31	83.8%
	30～39歳	自然の緑の豊かさ	45	95.7%	自然の眺めの美しさ	42	89.4%	空気のさわやかさ きれいさ	41	87.3%
	40～49歳	自然の緑の豊かさ	58	85.3%	空気のさわやかさ きれいさ	58	85.3%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	58	85.3%
	50～59歳	空気のさわやかさ きれいさ	108	85.0%	自然の緑の豊かさ	103	81.1%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	97	76.4%
	60～69歳	空気のさわやかさ きれいさ	127	77.9%	自然の緑の豊かさ	123	75.5%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	111	68.1%
	70歳以上	空気のさわやかさ きれいさ	106	73.1%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	97	66.9%	自然の緑の豊かさ	93	64.2%
不満	29歳以下	水と水辺のきれいさ	12	32.4%	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	10	27.0%	ごみの収集、処理	10	27.0%
	30～39歳	ごみの収集、処理	17	36.1%	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	12	25.5%	まち並みの美しさ	10	21.3%
	40～49歳	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	20	29.5%	ごみの収集、処理	19	28.0%	まち並みの美しさ	15	22.1%
	50～59歳	まち並みの美しさ	41	32.3%	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	39	30.7%	環境の情報提供	36	28.4%
	60～69歳	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	48	29.4%	まち並みの美しさ	36	22.1%	水と水辺のきれいさ	23	14.2%
	70歳以上	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	30	20.7%	まち並みの美しさ	28	19.3%	ごみの収集、処理	21	14.4%

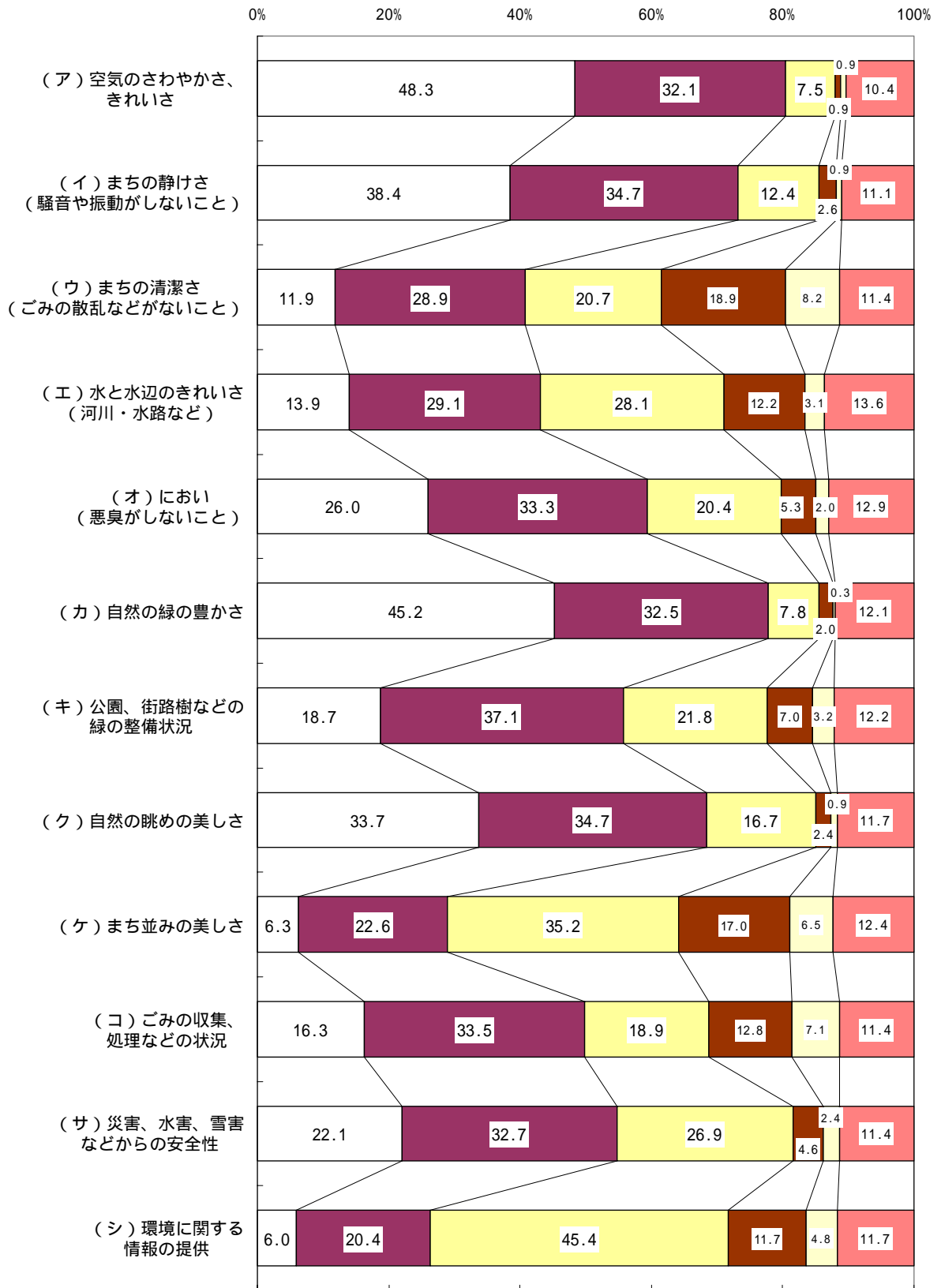
「家族構成別」でみる環境の項目別満足度

家族構成		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	単身	自然の緑の豊かさ	50	82.0%	空気のさわやかさ きれいさ	49	80.4%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	46	75.4%
	夫婦のみ	空気のさわやかさ きれいさ	192	77.5%	自然の緑の豊かさ	178	71.7%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	166	66.9%
	親と子の世帯	空気のさわやかさ きれいさ	177	84.2%	自然の緑の豊かさ	172	81.9%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	165	78.6%
	三世帯世帯	自然の緑の豊かさ	41	83.6%	空気のさわやかさ きれいさ	40	81.6%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	37	75.5%
	その他	自然の緑の豊かさ	16	88.9%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	16	88.8%	空気のさわやかさ きれいさ	15	83.3%
不満	単身	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	18	29.5%	ごみの収集、処理	13	21.4%	まち並みの美しさ	12	19.7%
	夫婦のみ	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	65	26.3%	まち並みの美しさ	64	25.9%	ごみの収集、処理	42	17.0%
	親と子の世帯	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	57	27.1%	ごみの収集、処理	49	23.3%	まち並みの美しさ	46	21.9%
	三世帯世帯	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	13	26.5%	まち並みの美しさ	10	20.4%	ごみの収集、処理 環境の情報提供	9	18.4%
	その他	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	6	33.4%	まち並みの美しさ	6	33.4%	ごみの収集、処理	4	22.3%

「職業別」でみる環境の項目別満足度

職業		第1位			第2位			第3位		
		項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
満足	常勤の会社員、団体職員、 公務員、教員など(役員含む)	自然の緑の豊かさ	112	90.3%	空気のさわやかさ きれいさ	112	90.3%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	99	79.8%
	アルバイト・パート勤務	空気のさわやかさ きれいさ	47	79.7%	自然の緑の豊かさ	46	78.0%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	46	78.0%
	自営業、農林業、自由業	空気のさわやかさ きれいさ	77	86.5%	自然の緑の豊かさ	71	79.8%	自然の眺めの美しさ	69	77.6%
	学生	空気のさわやかさ きれいさ	8	100.0%	自然の緑の豊かさ	8	100.0%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	8	100.0%
	無職	空気のさわやかさ きれいさ	215	75.2%	自然の緑の豊かさ	202	70.7%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	197	68.9%
	その他	自然の緑の豊かさ	15	93.8%	空気のさわやかさ きれいさ	11	68.8%	まちの静けさ (騒音や振動ない)	10	62.5%
不満	常勤の会社員、団体職員、 公務員、教員など(役員含む)	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	37	29.9%	まち並みの美しさ	35	28.2%	ごみの収集、処理	33	26.6%
	アルバイト・パート勤務	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	17	28.8%	ごみの収集、処理	16	27.2%	まち並みの美しさ	14	23.7%
	自営業、農林業、自由業	まち並みの美しさ	19	21.4%	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	17	19.1%	環境の情報提供	14	15.7%
	学生	水と水辺のきれいさ	3	37.5%	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	2	25.0%	まち並みの美しさ ごみの収集、処理	2	25.0%
	無職	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	79	27.6%	まち並みの美しさ	62	21.7%	ごみの収集、処理	52	18.2%
	その他	まちの清潔さ (ゴミの散乱ない)	5	31.3%	水と水辺のきれいさ	5	31.3%	まち並みの美しさ 環境の譲歩提供	4	25.1%

芦別市の現状（項目別満足度）（S A）



□満足 ■やや満足 □どちらともいえない ■やや不満 □不満 □無回答

(3) 関心のある環境問題

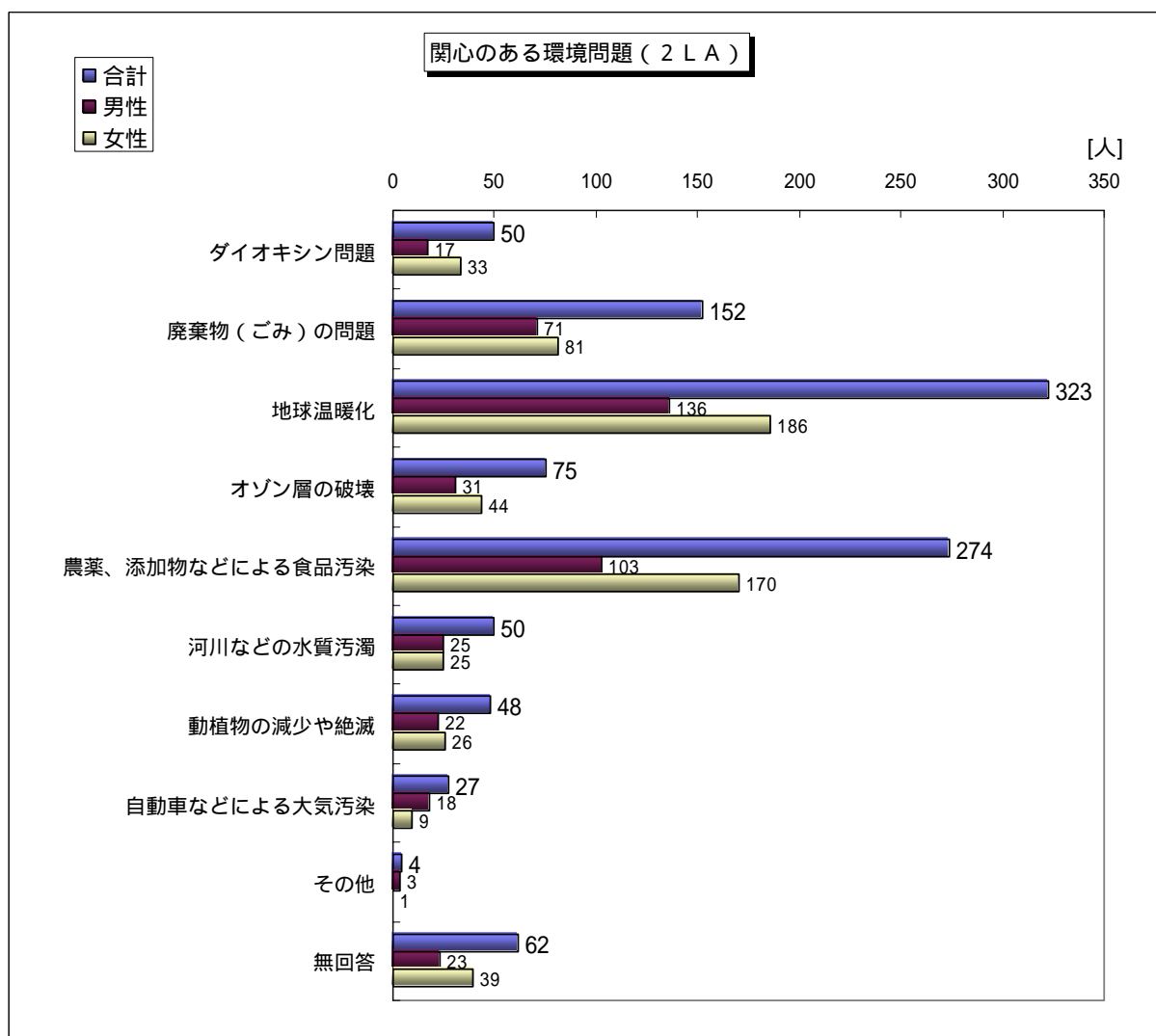
【問】あなたにとって関心のある環境問題は何ですか。あてはまるものを2つまで選んで番号に印をつけてください。

全体結果

関心のある環境問題については、近年最も注目されている「地球温暖化」が第1位となっており、以下、「農薬、添加物などによる食品汚染」、「廃棄物（ごみ）の問題」の順となっている。最近の報道などで注目を集めている項目が突出しており、市民生活に直接関係してくる環境項目への関心が高い結果となっている。また、「無回答」が「ダイオキシン問題」「河川などの水質汚濁」などを上回っており、環境問題に対する意識の高揚が今後の課題とも言える。

性別でみた場合も全体結果とほぼ同様の結果となっているが、「農薬、添加物などによる食品汚染」については、女性の回答比率が高い結果となっている。

グラフで見る集計結果



「年代別」でみる関心のある環境問題

年代	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
29歳以下	地球温暖化	28	39.4%	農薬、添加物による食品汚染	19	26.8%	廃棄物(ごみ)の問題	7	9.9%
30～39歳	地球温暖化	26	30.6%	農薬、添加物による食品汚染	22	25.9%	廃棄物(ごみ)の問題	18	21.2%
40～49歳	地球温暖化	41	32.3%	農薬、添加物による食品汚染	38	29.9%	廃棄物(ごみ)の問題	22	17.3%
50～59歳	地球温暖化	76	33.0%	農薬、添加物による食品汚染	54	23.5%	廃棄物(ごみ)の問題	34	14.8%
60～69歳	地球温暖化	87	29.0%	農薬、添加物による食品汚染	77	25.7%	廃棄物(ごみ)の問題	43	14.3%
70歳以上	地球温暖化	65	25.9%	農薬、添加物による食品汚染	64	25.5%	廃棄物(ごみ)の問題	28	11.2%

「家族構成別」でみる関心のある環境問題

家族構成	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
単身	地球温暖化	31	27.9%	農薬、添加物による食品汚染	28	25.2%	廃棄物(ごみ)の問題	14	12.6%
夫婦のみ	地球温暖化	134	29.8%	農薬、添加物による食品汚染	118	26.3%	廃棄物(ごみ)の問題	61	13.6%
親と子の世帯	地球温暖化	121	31.4%	農薬、添加物による食品汚染	95	24.7%	廃棄物(ごみ)の問題	62	16.1%
三世帯世帯	地球温暖化	30	34.5%	農薬、添加物による食品汚染	28	32.2%	廃棄物(ごみ)の問題	11	12.6%
その他	地球温暖化	7	22.6%	農薬、添加物による食品汚染	5	16.1%	無回答	5	16.1%

「職業別」でみる関心のある環境問題

職業	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
常勤の会社員、団体職員、公務員、教員など(役員含む)	地球温暖化	84	36.4%	農薬、添加物による食品汚染	57	24.7%	廃棄物(ごみ)の問題	32	13.9%
アルバイト・パート勤務	地球温暖化	34	32.4%	農薬、添加物による食品汚染	26	24.8%	廃棄物(ごみ)の問題	18	17.1%
自営業、農林業、自由業	地球温暖化	44	27.3%	農薬、添加物による食品汚染	43	26.7%	廃棄物(ごみ)の問題	28	17.4%
学生	地球温暖化	6	40.0%	農薬、添加物による食品汚染	6	40.0%	動植物の減少や絶滅	2	13.3%
無職	地球温暖化	145	28.0%	農薬、添加物による食品汚染	135	26.1%	廃棄物(ごみ)の問題	69	13.3%
その他	地球温暖化	7	25.0%	農薬、添加物による食品汚染	6	21.4%	廃棄物(ごみ)の問題	4	14.3%

関心のある環境問題を年代別、家族構成別、職業別でみた場合、どの種別でも「地球温暖化」が第1位となっており、上位3項目は全体結果とほとんど変わらない結果となった。

その他の回答

アメリカ、中国の環境問題対策
鹿による食害

(4) 日常生活における環境保全への取組

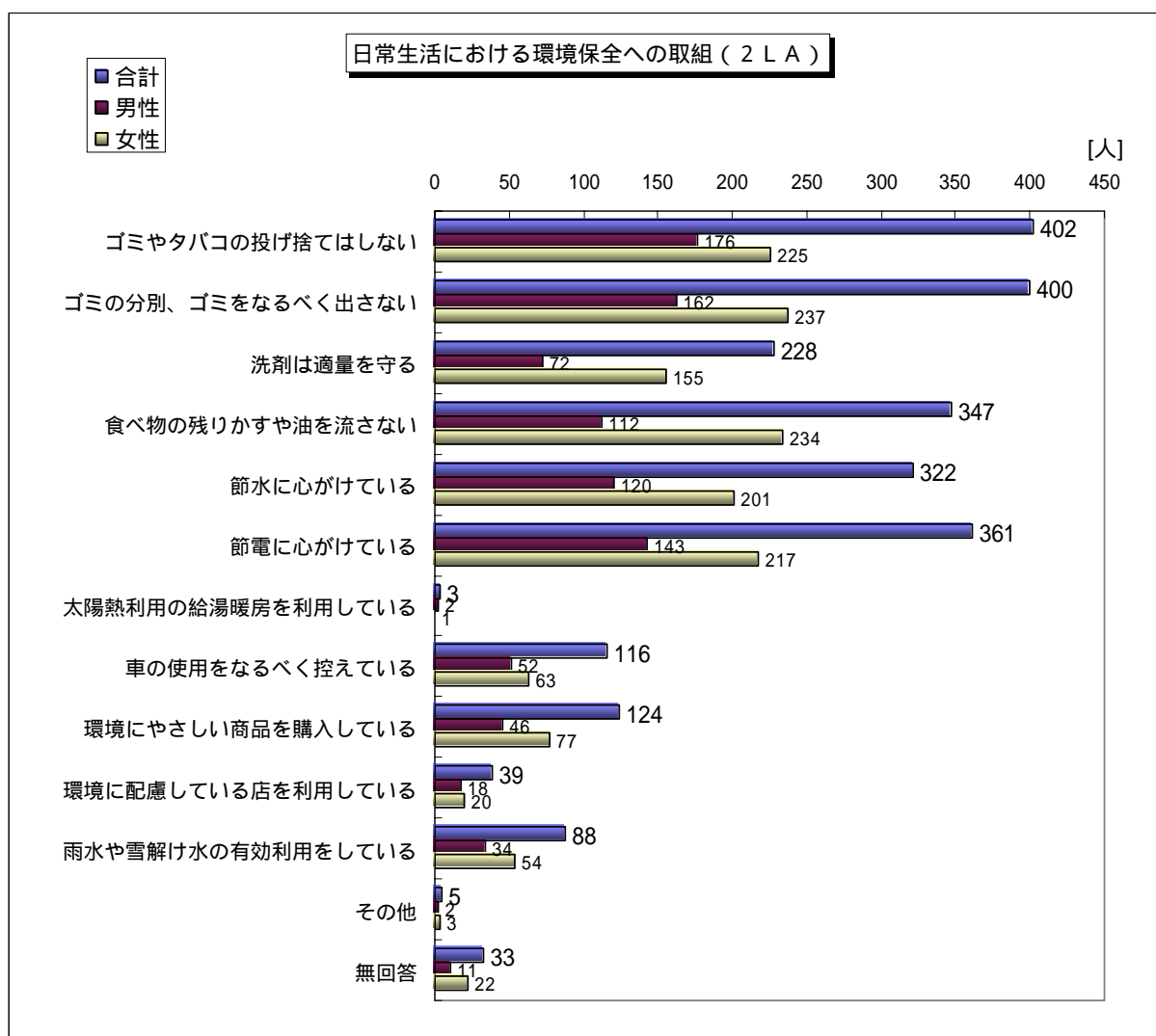
【問】あなたがやっている日常生活における環境保全への取組について、あてはまる番号に 印をつけてください。

全体結果

日常生活における環境保全への取組については、「ゴミやタバコの投げ捨てはしない」が最も多く、「ゴミの分別、ゴミをなるべく出さない」がきん差で続いている。以下「節電に心がけている」「食べ物の残りがすや油を流さない」「節水に心がけている」の順となっている。芦別市のゴミ分別化への取組が、“身近にできる環境保全への取組”という意識に繋がっている。

性別にみると、男性で最も多かった取組は「ゴミやタバコの投げ捨てはしない」で、女性は「ゴミの分別、ゴミをなるべく出さない」という結果になっている。また、「食べ物の残りがすや油を流さない」では、女性の回答比率が高く、男性の回答比率が低い結果となっている。

グラフで見る集計結果



「年代別」でみる日常生活における環境保全への取組

年代	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
29歳以下	ゴミやタバコを 投げ捨てない	26	23.0%	節電の心がけ	19	16.8%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	19	16.8%
30～39歳	ゴミやタバコを 投げ捨てない	41	20.5%	節電の心がけ	33	16.5%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	31	15.5%
40～49歳	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	49	16.8%	ゴミやタバコを 投げ捨てない	47	16.2%	節電の心がけ	45	15.5%
50～59歳	ゴミやタバコを 投げ捨てない	94	17.2%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	82	15.0%	節電の心がけ 残さや油を流さない	79	14.4%
60～69歳	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	116	16.7%	ゴミやタバコを 投げ捨てない	110	15.8%	残さや油を流さない	100	14.4%
70歳以上	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	102	16.7%	節電の心がけ	92	15.0%	残さや油を流さない	90	14.7%

「家族構成別」でみる日常生活における環境保全への取組

家族構成	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
単身	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	48	49.1%	節電の心がけ	40	15.9%	ゴミやタバコを 投げ捨てない	39	15.5%
夫婦のみ	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	177	16.3%	ゴミやタバコを 投げ捨てない	169	15.6%	残さや油を流さない	154	14.2%
親と子の世帯	ゴミやタバコを 投げ捨てない	152	17.6%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	137	15.9%	節電の心がけ	133	15.4%
三世帯世帯	ゴミやタバコを 投げ捨てない	31	16.8%	残さや油を流さない	29	15.7%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	28	15.1%
その他	節電の心がけ	14	16.7%	ゴミやタバコを 投げ捨てない	11	13.1%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	11	13.1%

「職業別」でみる日常生活における環境保全への取組

職業	第1位			第2位			第3位		
	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
常勤の会社員、団体職員、 公務員、教員など（役員含む）	ゴミやタバコを 投げ捨てない	93	18.6%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	83	16.6%	節電の心がけ 節水の心がけ	74	14.8%
アルバイト・パート勤務	ゴミやタバコを 投げ捨てない	40	17.7%	節電の心がけ	36	15.9%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	35	15.5%
自営業、農林業、自由業	ゴミやタバコを 投げ捨てない	67	18.5%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	59	16.3%	残さや油を流さない	51	14.1%
学生	ゴミやタバコを 投げ捨てない	6	27.3%	節電の心がけ	5	22.7%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	4	18.2%
無職	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	207	16.2%	ゴミやタバコを 投げ捨てない	187	14.6%	残さや油を流さない	187	14.6%
その他	節電の心がけ 残さや油を流さない	11	16.7%	ゴミ分別の徹底 ゴミ排出の抑制	10	15.2%	節水の心がけ	10	15.2%

年代別では、若年層は「ゴミやタバコの投げ捨てはしない」が多く、年齢が上がるに連れて「ゴミの分別、ゴミをなるべく出さない」が多くなっている。

家族構成別“単身者”の「ゴミの分別、ゴミをなるべく出さない」が約50%と高い比率を誇っている。

その他の回答

生ゴミの肥料化
 アイドリングストップ
 化学肥料・除草剤を使用しない
 リサイクル、再処理、再利用

(5) 芦別市の守りたい環境と改善したい環境

【問】芦別市の環境の中で、あなたにとって「もっとも守りたい環境」と「もっとも改善したい環境」をそれぞれ1つ記入してください。例えば、「 地区の豊かな緑」、「 川がくさい」、「 地区にゴミの不法投棄がある」などと、具体的に記入してください。

もっとも守りたい環境

自然	芦別の美しい自然・森林・緑・環境	67
	水環境、空知川、芦別川の水・生物	15
	芦別岳、峠山 / 高山植物、希少植物	9
	きれいな空気・夜空・星空	9
	公園・街路樹の緑	4
	新城峠の景観	3
	油谷の自然環境	3
	山菜が豊かな山	2
	新城のおいしい水	2
	三段滝	2
	昆虫が採取できる森林	
	おいしい作物が取れる土	
	黄金水松	
	上芦別分岐点の緑	
	なまこ山付近の自然	
公園	旭ヶ丘公園の桜・緑・猿山	15
	カナディアンワールド公園の風景・緑	6
	上芦別公園	2
子ども・老人	子ども・老人の安心・安全な生活	3
	子ども達が安心して遊べる公園・環境	2
	子どもの通学路	
	学校施設	
	子ども・老人のふれあいの場所 老人に優しい環境	
施設	観光施設(芦別温泉、北の京芦別、国設スキー場)	6
	スポーツ施設	2
自治	町内会	
商工業	商工業(地元企業や商店)	2
生活	治安の良さ	
	あいさつ	
	40歳前の若い方の生活	
	食の安全・安心	
道路	北大通り・南大通り	
	旭ヶ丘公園～上芦別間の山道	
	上金剛付近の道路	
	湊水町遊歩道(さくら・りんごの木)	
	イルムケップの登山道	
農林業	農林業	4
	田畑、常磐・福住地区の水田・山並み	2
	農地用の水道	
福祉	年寄り・障害者へのボランティア活動	
衛生	ゴミ分別・ゴミ出しのマナー	

もっとも改善したい環境

ごみ	不法投棄 (山道、林道、芦別霊園線、三段滝付近、旧三井地区、新あけぼの地区、滝里林道、緑泉工業団地、国道バイパス沿い、上金剛山、空知川、本町、溪水町、頼城、西芦別、玉川、黄金、新城、旭、上芦別)	38
	道路脇のごみ・車中からのポイ捨て (道道旭川芦別線、頼城、東頼城、西芦別、上芦別)	27
	ごみ・タバコのポイ捨て	15
	ごみステーションのごみの散乱・悪臭・置き去りのごみ	14
	分別・収集・処理	7
	市民のごみに対するモラルや意識の低下	5
	ごみ箱を設置する	2
	焼却	2
	橋から川へのごみの投げ入れ	
	廃棄物の問題	
	ごみ処理の将来	
	落ち葉の散乱	
	自分の家の周りからきれいにする意識	
	まち清潔さ	
	プラスチック製容器包装の分別 空き缶等の個人的収集を行う人	
医療・福祉	医療体制・医療環境	5
	小児科・産婦人科など診療科目の不足	3
	福祉対策	
河川	河川(空知川、芦別川など)水の汚れ、水質汚濁、悪臭	7
	散歩やサイクリングのできない河川(河川敷を設置してほしい)	2
	空知川周辺の景観(美しくない)	
環境	レジ袋やビニール等の使用を少なくする	
	車の排気ガスの抑制(アイドリングストップ)	
	ダイオキシン、廃棄物(ごみ)、オゾン層破壊の市の改善策	
	高根町の産業廃棄物処理場からの川に流れ出ている汚水	
観光	街の美観(観光のため)	
	花火大会時の観覧場所、混雑	
行政	箱物行政の廃止、既存施設の長期利用・有効活用	2
	環境より財政。安心して住めない。	
	農村農政、企業の誘致等(若い人に魅力あるもの)	
公園	公園など大人も小人も集える様な環境整備(ごみ、雑草、遊具)	4
	多すぎる公園と活用方法	2
	近くに大きな公園がない	
	旭ヶ丘公園に桜の木を増やし、桜の山にしてはどうか。	
	公園の落書き(あすなる公園)	
	自然を利用した公園にする	
	広すぎるカナディアンワールド公園をきれいにしてほしい。	
	公園の大きくなりすぎた樹木 動物も入れる公園の設置	
交通	交通の便が少ない(JR、バス)	3
	福祉バスの運行中止	
高齢化	老人問題	
子ども	子供達の娯楽の場所、外で遊べる場所、危険な場所の改善	3
雇用	雇用	
施設	星遊館の洗い場が少ない	
	道の駅の入口国道側の石囲の撤去	
	なまこ山総合運動公園、油谷体育館の使用方法	
	市立病院の駐車場が狭い	
	カナディアンワールドを作った人や場所	
	道の駅の管理(高校生の溜まり場になっている)	

自然	上芦分岐点近辺の山などの緑	
市民	年配者のマナーの悪さ	2
	市民の意識改革	
住宅	空き家対策	4
	ゴースタウン化しつつある古い公営住宅	2
	共済住宅の空き家の増加、荒廃	
	溪水町の教員住宅の雑草、景観	
	タタミの生活	
商工業	指定工業団地の解除	
	企業のあり方、企業の数	
情報	ネット環境	
除排雪	除排雪の仕方が悪い	2
	除排雪体制の増加	
	除排雪の早すぎる開始時間	
人口	人口減少、少子高齢化	3
税金	高すぎる税金	
地域	頼城・青木沢地区	
	集会所の活用	
	奇薄なご近所との交流	
	老若男女が交流できる場	
道路	国道沿い(38号線など)の街並み・景観	2
	損傷の激しい道路・歩道(周辺環境も)環境の整備促進	5
	道路のマンホールの凹凸	
	道路に散らばる危険なガラスの破片	
	国道バイパスができたことによる騒音、悪臭	
	溪水通の街路樹の剪定	
農林業	農業、農地保全	
	動物による農作物の食害	
ペット	ペットの糞の後始末、飼い主のマナーの悪さ	14
	放し飼いにされている犬	
	動物愛護	
まちづくり	まちの活性化、住みやすい町	5
街並み	空き家、空き地、空き店舗による街の景観、街並みの悪化	10
	芦別駅前、駅舎、周辺の活気	5
	空地の雑草処理	
	街路灯の整備	
	過疎化	
	市内の空店舗や建物の有効活用(都市区画廃止)	
	駅前の自転車の放置	
	上芦別駅の裏が汚い	
水	おいしくない上水道(薬臭い)	2
	下水道整備	
その他	生きて行く事に喜びと感謝の気持ちを持つ環境	
	住みやすい不公平のない生活	

資料

1 自由記述回答

行政	全般	市民と行政が話し合いをする場が必要である。	
		無駄の削減が必要である。	
		市政でやるとこまでやって、どうしてもという説明があれば市民も納得すると思う。	
		本当に困っている人には手を差しのべず、(聴覚)障害ではない人たちに税金を使って助けたいと感じる。市民にやさしくなければ良いまちとはいえない。	
		総合計画10年は長い。(5年程度が良い、社会情勢の変化に対応できるのか疑問がある)	
		高齢化社会まで充実して暮らせる芦別にしてほしい。	
		まちづくりは人である。	
		コンパクトなまちづくりを望む。	
		合併でなく近隣市町村が協働で行政事業を行うべきである。	
	向こう三軒両隣のような人情味があって互いに助け合うことが「まちづくり」の基本である。		
	合宿	合宿誘致の推進が必要である。	
	アンケート	アンケート結果を公表してほしい。	
	アイデア	芦別を良くする投書箱(私書箱)を設置することにより、公の場の発言よりも子供・大人が気軽に意見を伝えられると思う。	
		学生・各種団体から様々な案を提出・プレゼンをして、良いものは試験的にやってみることも良いと思う。	
市長	市長の給料も下げたほうがよい。		
市職員 (意識)	市職員は目と心を開き市民と共に努力してほしい。		
	市役所職員の意識改革が必要である。		
	市職員・議員等々、市民の代表であることを認識し、ボランティア精神で望んでほしい。		
市職員 (人数・給与)	市職員の給与削減(人口に対して多い、赤平30%削減なのだから芦別ももう少しやってもいいのでは、30%カットしても民間より高い、部長職廃止)	6	
	市職員の人数を減らしてほしい。	4	
市職員 (態度)	市民一人ひとりが参加する場所を確保してほしい。		
	市職員の対応が悪いと思う。 市職員の勤務態度の改善が必要である。(税金で生活しているので腰入れて仕事してほしい) 公用車内でタバコを吸っている姿が見られる。		
市職員 (その他)	市議会議員を始め市職員、上部団体など、自分の役職が終了すれば良いの考えでは困る。		
	広報記載の募集を何度か受けたがすべて不合格(後でコネがあったなどと聞いた)。市に望むこと求めることは無駄である。		
	どんな小さな苦情・報告であっても、必ず上司と相談して対処するよう若手に指導してほしい。 聴覚認定の件でこんなに多い人数に気づかない市職員は、何を仕事しているのか考えさせられる。このことで市長はじめ職員減給はあたり前と思う。		
民生委員	民生委員が3~4人もかたまって廻っている姿が見られる。		
市議会議員	報酬	市議会議員の報酬を削減すべきである。	2
		日当制にすべきである。	2
		市議会議員が自ら進んで3割カットで頑張してほしい。	
	人数	市議会議員の定数を削減すべきである。	6
活動	議員報酬を半分に減らし、その経費を病院の医師を増やす事に使ってほしい。老年者が多いのに不便すぎると思う。		
	CW公園ボランティアデーに市議会議員は一人もいない。 市議会議員の働いているところが目に見えない。		

財政	財政運営	まちづくりも市の財政に比例すると思うので健全財政に力を入れてほしい。	
		健全財政こそがこれからのまちづくりに必要なことだと思う。	
		予算配分の大幅な見直しなど抜本的な対策が必要である。	
		借金をしないことが重要である。	
		夕張・赤平のようになることだけは避けたい。	
他市行政	合併	赤平市との合併に反対である。 市町村合併は市民のために慎重になるべきである。	
	情報交換	富良野との交流・情報がなく、もっと連携すれば新しい交流が生まれると思う。	
税金・料金	税金	税金が高いと思う。	6
		上下水道料金が高いと思う。	
		税金を節約すべきである。	
	その他	市民税を上げたり、有料化を増やすことで住みにくいまちを作り出す原因にもなっている。 適正な審査で生活保護世帯や非課税者の洗い出しをし、万人が平等な納税義務を果たしてほしい。 住みやすい環境というのは税金・水道代が安い、ゴミも当然お金がかからないことである。 給食費や保育料を払わない人からしっかり徴収すべきである。	
上下水道料	上下水道料金が札幌よりも格段に高いのは不思議に思う。		
景観	街	番地を書いている表札の字が消えているので改善してほしい。 駅前の景観を少し良くしてほしい。	
	空家・空き地	空き家・空き地対策に取り組んでほしい。(建物の老廃化や雑草による景観の悪化、屋根雪による事故の恐れがある)	4
通信・情報	ネット環境整備	ISDNの区域があるので、せめてADSLくらいのネット環境を広げてほしい。 高速インターネットエリア(光)を広げてほしい。	
	情報	月1回の広報紙の情報ではとても足りないと思う。	
観光・PR	観光	夏も冬も観光客であふれる芦別になるよう、もっと観光に力を入れるべきである。(有名なお店(飲食店)を作るなど)	
	食べ物	ガタンラーメンのPR活動を積極的に行ってほしい。	
	自然	「星がキレイ」というPR活動を積極的に行ってほしい。	
	その他	活発なまちのアピールが必要(富良野のようにまちをあげて何かを創りださないと発展していかない) 経済的にこのままではもっと人口減少するので、テレビでどんどんPRしてもらうべきである。 企業誘致、医療環境の充実、スポーツ振興などを通じて、全道的・全国的に知れ渡る「売り」をつくるのが大切である。 雪が積もったら各家の前に大小こだわらず雪だるまをつくる。 道内でも目立つ所をつくる(アピール、産地、商品の販売)。	
	地産地消	地産地消をもっと働きかける必要がある。	
イベント(祭り)	イベント	花火大会・各種公園まつりを継続してほしい。 中心部に人が集まるイベントを開催してほしい。(冬のお祭りが無く寂しい) 街の中が活気がないので、イベントなどの催しをやってほしい。 様々な行事を実施しているが、どの行事も中途半端になっているので、あまりいろいろな物にとびつかない方がよいと思う。	
	健夏山笠	「山笠」について、そのまちの歴史や規模(財政面も含め)にあったものにしないと、博多の真似事をしているようにしか見えない。大変な今こそ、日数を短くするか山笠自体をやめるなど市のお金を節約し、医療・福祉・教育など有効に使ってほしい。 健夏山笠には全く魅力を感じない。それよりキャンドルアートを大切にすべき。夏にイベントが多いので山笠をやめて産業フェスとキャンドルを同日にし、他市にもっと芦別の魅力を広めたいと思う。	
交通	便が悪い	交通の便が悪い。(通院など高齢者に負担) 買い物物の便が悪い。	5
	標識	中学校近くの住宅地の交差点が危険なので、一時停止の標識をつけてほしい。	
バス	福祉	福祉バス、生きがいバスを廃止すべきである。(福祉対策としてキラキラバス無料券の発行など)	3
	福祉バス	福祉バスの有料化(100円など小額負担で福祉センターまで来れるのなら惜しまない)	2
	キラキラバス	キラキラバスを朝夕の通院・通勤・通学時間対の増便してほしい。(冬期間は今の収容人数では対処できないので対策を示してほしい) キラキラバスは乗り降りが不便になり残念。バスも小さくなり乗り心地が悪い。	

	スクールバス	空走りさせず、有効活用すべきだと思う。		
	その他	芦別駅前バスの待合所の整備、バスターミナルを確保してほしい。		
産業・雇用	農林業	もっと農林業に力を入れて仕事のない人々に適切に指導し、農業に力を入れられるような独自のものを考えなければ、人口は減る、税金は上がる、さらに人がいなくなると思う。 森林の生産、ものづくりなど、森の恵みを活用したまちづくりが良いと思う。 芦別には農地が沢山あり、気候にも恵まれているので農家が元気になってほしい。 北海道の中心である芦別に作物を集荷して食品加工するのも良いと思う。既存の企業を守り、農業を中心としてまちづくりをすべき。多様な作物を生産ブランド化すべき。 市内に農業後継者がいなくとも、全国に農業をやりたい若者は沢山いる。農業への法人の参入や他地域からの参入で活性化させることも良いと思う。 若い後継者が育たず、年寄り農業者が病気になれば農業経営が中断される。若い人が育つような芦別になってほしい。	3	
	地元企業	地元企業が元気になることを願う。 商店街がもう少しきれいで住みやすいまちになってほしい。 産業部門の企業・関係者に対し、商工会議所との連携をとり、自社の経営が成り立つよう努力させる必要がある。 地元商店などでインターネットを活用した情報商戦を行うべきである。 地元の企業家を発掘し、特徴ある企業を育てることも必要である。 人口減、商店閉店、企業倒産で今後の芦別がどうなるか心配である。 企業全体の地域への奉仕活動に対する認識も弱いと思う。		
	空き店舗	空き店舗・空き地対策が必要である。(目立って見苦しい、寂しい、旧産炭地区など) コンパクトなまちづくりを望む。 駅前商店街(中心市街地)の活性化が必要である		
	大きなデパート	中高生が遊べるような物を作ってほしい。 遊ぶ場所がない。		
	上芦別町	今井草笛店がなくなり車のない高齢者が困っている。店舗の利用を検討すべきである。 上芦別市街地には店やスーパーがないので、上芦別駅付近に1件でも整備してほしい。		
	雇用	働く場所がない。(魅力的な就職先がない) 安心して働ける(倒産の心配ない)会社を望む。 商店街の衰退著しく何か魅力あるまちづくりが必要である。 企業等働ける場所が一つでも多く増えることが必要である。 工業の事業所を増やしてほしい。 北日本精機に頼りすぎである。 50代の若い男女が働かないでいる。雇用できる仕事場があれば良いと思う。	3	
	雇用(若者)	若者が働ける場所の確保が必要である。(企業誘致・工場誘致)	15	
	企業誘致	企業誘致・雇用拡大が必要である。(活気のあるまちになる、元気になる) 芦別バイパス沿いに商業誘致、移転援助など主要道路の活性化を望む。 前進しない企業誘致を待って(市として)枯れるより、今出来ることから前進してほしい。	3	
	道路	必要	上芦別営林署官舎横の道路は必要なのか疑問である。	
		ゴミ・雑草	歩道の徹底した草むしりを行う。 道路の端に犬のフン、ゴミがあり、雪解けになるとひどい。	
		舗装等	道路のつぎはぎや凹凸が気になる。 上芦別地区の下水道あと道路が下がったり舗装がわれたり、身体の不自由な人には非常に危険である。 三角山町内(西田商店)前の交差点の四つ角を広げてほしい。 下水道工事や道路工事、本当に必要かどうか考えてほしい。	2
国道452号		旭川空港までの道路を早期開通してほしい。(国道452号の早期開通)		
街路樹		除雪の邪魔になる街路樹の見直しが必要である。(管理費の無駄)		
雪	除雪	公園の周りに雪を投げる人達がいる。(周りのフェンスが曲がってしまう) 個人で除雪を頼んで(月ぎめ)除雪したあとに、除雪車による雪がどっと入るのは何とかならないか。		
	障がい者 生活保護等	認定証を返上するだけでなく、過去から受けた金額を全て返金すべきである。(障害年金も返却、今後二度と起こらないよう名前の公表など) 福祉を食い物にした市民がいた事に驚きと怒りを感じている。障がい者と健常者が寄り添って生きる市政を望む。	3	

	生活保護等	生活保護をうけている人の生活をもう少し突っ込んで調べたり指導すべきである。国民年金よりいいのはおかしい。医療費・交通費も払わすべきである。 生活保護者になると何々を負担しなくても良いのか周知すべきである。	2
	目の見えない人	同居家族がいるのに、ごみ出しは混合ゴミで可となっている。	
	白蠟病患者	病院帰りの居酒屋立ち寄りしている。もう一度見直ししてほしい。	
施設	福祉センター	1階和室大広間の利用日数や利用時間を減らすべきである。	2
	宿泊交流センター	利用者はマナーを守るべきである。(夜遅くまで騒いでうるさい。雪を山にして置いていく)	
	三段滝	三段滝トイレの汚れが目立ち、ゴミも捨てられとても汚く市民として恥ずかしい。	
	芦別温泉	芦別温泉を廃止し、星遊館一つに統一すべき。	
	駅	駅舎を建替えるべきである。	
	その他	頭の体操、手先・頭を使う娯楽の場所が(気軽に利用できる所)あればと思う。 各種施設の閉鎖を検討しているが、利用している人の意見を聞いて最良の形で運営できるよう望む。 バリアフリー&エコタウン構想～頼城地区の自然と土地を活用し、福祉医療において施設を作ってはどうか。(施設の光熱費に太陽熱を利用する循環システムを構築) 新たに何かを作るのではなく、今ある設備や環境をもっと活かすことを考えた方が良い。 公共施設(病院・市役所・図書館など)の室温が高すぎるので設定温度を下げるべきである。	
自然	自然	芦別の大自然はいつまでも大切にしてほしい。(子孫に残すこと) 芦別は自然が豊かでとても住みやすいと思う。 観光やイベントを増やすより、地道に自然を活かしたものや、遠回りでもまち全体、自然を通り、見るだけのものでも良いと思う。大事なものはそのまま残し、悪い部分は変えていく事を頑張って進めてほしい。 自然を活かし、新しいもの(箱物)でなくこれからはメンテナンスが重要である。	2
	花	町内において、まち中の空き地に多年草の花(コスモスなど)を植え、花いっぱいのもちづくりを進めてはどうか。	
	住み良い	自然の豊かさや住みやすさ、人の優しさがあふれるところが芦別のいい所と市民皆が思っているはず。 市民の住み良いまちになっていくよう願う。	
環境	きれいな町	徹底してまちの清掃をする。(市民全体一丸となって) 市民1人ひとりが自分の地区の草刈除雪ほか地区で出来ることはすべきである。 市民1人ひとりがもっと気をつけてきれいな生活環境を守りたいと思う。 もう少しきれいに豊かでさわやかな芦別市であってほしい。「頭のかたい芦別だ」と言われないうようにしてほしい。	
	水路	某会社のペンキ類のたれ流し、夏場は異常な悪臭を放っている水路を調査改善してほしい。	
	その他	環境保全への取り組みについて、全く取り組めていないと思った。今後自分にできる最低限のことを少しずつ行っていきたくと思う。 環境問題 農作物の農薬使用、食品添加物の使用、将来の子供たちの事を考え、学校給食に添加物を使用しない食品を考えてもらいたい。	
ゴミ	不法投棄	人目の届かないところで平然と繰り返される不法投棄を速やかに撤去してほしい。(明治から旭町の道路など)。	3
	分別	分別方法をもっとわかりやすく説明して欲しい。 分別の種類が多すぎて家に置く場所がない。(3種類くらいにできないものか) 分別されたゴミはちゃんとリサイクルされているのか。業者がどのように処理しているのかとても興味があり、そのような情報の周知や説明が必要だと思う。	
	ゴミ袋	ゴミ袋も倍になると聞いているがなぜ倍なのか。 分別ごとに高い袋を使い収集車であっという間に潰され、どうしてこんな無駄なことをするのか。他市では、どうせ捨てるのでどんな袋でもよく、自分の名前シールを分別された物に貼って出している。他市のようにしてほしい。 袋は買え、分別は徹底しろと急かすすぎだと思う。	
	収集	一番ゴミのでお盆・正月にごみ収集してほしい。 新城のゴミ収集回数を増やしてほしい。(今は週一回) 市のゴミ収集車がペットボトルのラベルをつけたまま回収している。(取らなくてもいいのか)	
	回収ボックス	資源ごみの回収ボックスを設置すれば、各ゴミステーションのゴミが減ると思う。	
	リサイクル推進員	町内にいるごみ収集の責任者への説明会を行い、ごみ分別の方法を回覧することが必要である。	
ペット	フンの後始末	飼い主への徹底したマナー指導が必要である。 犬を連れてくる方はマナーを守らない。空き地を利用して「ドックラン」のようなものがあれば憩いの場になり、マナーも改善されると思う。	

公園	風景	子供の声が聞こえる公園を望む。 深水町の公園は子供が遊んでいる風景が少なく淋しい。元気な子供たちが集う環境になるといいと思う。	
	遊具・設備	公園の遊具等の管理が大切である。(ブランコ等を上にあげたり、外しておくなど) 時計のある公園については、時刻を合わせてほしい。	
	その他	旭ヶ丘公園は近隣市町村に無い施設で、無料で楽しめることは素晴らしいと思う。	
	カナディアンワールド公園	カナディアンの広い土地に高齢者が共同生活できる施設を造ってはどうか。 刑務所建立を国へ働きかけたり道立カジノを建設してはどうか。 冬はスノーモービル、夏はオートバイコースとして格安で貸してはどうか。 カナディアンワールドを再生してほしい。 跡地にリサイクル工場を作ってほしい。(缶・プラスチック・ペットボトル)	
人口	人口	年々少なくなる人をどうするのか。 人口減少にあるが、芦別だけはそれに歯止めがかかるようになればと思う。 人口減少により街の中が歯抜け状態になってきている。 人口減少により活気のないまちになってきている。	
	移住	定年退職後の移住受け入れ計画は止めた方が良い(一人もこないだろう)。それなら春から秋までの一時移住にすべきである。	
人材	人材銀行・育成	男女問わず人の持っている技術や知識など、他人のために出来るかたは「人材銀行」なるものをつくり、登録することはどうか。 行政や各機関のリーダーは、地域全体の総合的なプロデュースを心がける。 まちづくりは、町内会や団体ではなく市民が行う活動に着目して支援を行なうこと。市民活動サポートセンターなどで講習を行い活動を担う。サポーターの人材を育成すること。参加者とボランティアの募集により若者、高齢者が共に助け合い、まちづくり活動が良い方向に進んでいくと思う。	
老人	独居老人	独居老人が住みやすい芦別市になってほしい。 一人暮らしの老人が増えています。(特に女性が多い)	
	施設	長期入院の出来る老人病棟の確保など、1人暮らし老人のための施設を用意してほしい。 福祉に力を入れ、やさしいまちづくり施設だけでなく老人たちが気軽に集まれる場所や、老人が子どもたちの話相手になったり、親も安心して働けるそんな場所を作ってはどうか。 独居・身寄りのない老人になっても、心配なく暮らしていける自然に囲まれた明るい独居老人福祉村構想(村の中心にコミュニティハウス設置)福祉村ができると楽しいと思う。 年寄りに優しいまち構想～一人暮らし・同居など様々なスタイルで生活しているお年寄へサービス強化を行う。(例えば訪問医の充実・行政主義での給食サービス)	
	その他	お年寄をあたたかい目で見守ることの出来る街にしたい。 高齢化社会において、多方面でもっとお年寄にやさしいまちづくりを心がけてほしい。	
介護	老人介護	老人介護保険について不安がある。保険あって介護なしと思われる。老人が多いまちなので病院だけは確保してほしい。 老人介護の支援策を考えてほしい。	
	認定	介護保険の適切な運営とサービス望む。(認定調査の現状と認定結果に納得しない)	
	施設	施設入所の相談時の行政の適切な対策を望む。	
	その他	福祉事業の一つの案としてシルバーシティ構想はどうか。	
子ども・若者	子ども	中高生の服装のみだれが年々ひどくなっている。 いじめのない学校生活、庶民生活ができる「子どもの権利条約」を意識したまちづくりを望む。 市の土地が余っていたら子どもたちの自由に遊ぶ場所を作ってほしい。小中学校生の遊ぶ場所の少ない事が目につく。	
	若者	若年層が定着できる住みやすい環境のまち。 若い方々のためのまちづくり。若いお母さんが安心できるまちにしてほしい。 若者をまちに残す努力をしてほしい。(駅前如若者の集まる場所に変える)	2
子育て		子育てをしてこのまちで生活できるのか近い将来でさえ不安に思う。 子どもたちがスポーツや自然とふれあい、普通の生活のなかで社会を学べるような、教育次世代を担う子どもを育て、より良いまちを創ってほしい。 幼稚園・保育園を選ぶことができるよう数を増やしてほしい。	
学校・教育	学校	小学校もなくなるような地区はどうするのか。(野花南) 小学校を一つにして、施設を子どもと市民と交流の場として共有してほしい。	
	通学	通学路について不安が一番大きい。(街灯を増やしてほしい) 当下校時の送迎で、駐車帯に止める車が増えている。	
	教育	学校の教育の中からゴミや道路を清掃させたり家庭科の中で教えたり、小さい頃からの教育や先生の指導がなっていない。 子どもたちの教育環境の改善を望む。	

	教員	教員住宅の充実。一生懸命指導して下さる先生方が、いつまでも芦別で働きたいと思ってくれる点の一つになればよいと思う。 教育機関の充実を図り、有為有能な人材を育てる。(教職員のヘルプアップが第一)	
医療・健康	医療	医療の充実に力を注いでほしい。(両親の老後が心配、まちづくりは健康な体から) 一人身になった時の老後のことが気になる。(病院科目も少なく救急の時が心配) 市民が安心していられる医療体制を整えるべき。(特に小児科、耳鼻科)	4
	小児科	小児科医療の充実望む。子どもたちの急な病気に対応できる病院があると安心できる。 子ども専門の内科をつくってほしい。(耳鼻科・眼科)	3
	予防	病気になる前の予防医療という考えで、検診以前の健康を保つために老人が喜んで参加できるようなことを考えてほしい。 少子高齢化社会は、今後10～15年は続くものと思われるので、健康予防に関することを重視すべきである。	
市立 芦別病院	診療科目等	診療科目と診療時間を確保してほしい。 耳鼻科は月曜診察日だが、祝日で休診が多いので他の曜日にしてほしい。 小児科も週2回でいいので出張医を呼んでほしい。	
	医師	医師不足を解消してほしい。 優秀な医師を望む。(夜間外来の診察で変な診断をされた)	2
	看護師	看護師の患者に対する扱いがひどい。	
	その他	市立病院を充実させてほしい。 市立病院の評判がよくない。 市立病院バスは、市内の他の病院までも運行すべきである。	
元気(活気)	明るいイメージ	まちに元気がないので元気なまちづくりをする。 ひとが集まる場所にしてほしい。 活気あるまちづくりを望む。	
	暗いイメージ	街に活気がない。(商店・接客が劣っており赤平まで買いに行っている) 街の中が閑散として活気がない。 一人ひとりの道徳心が一番だと思う。(駅前が淋しい・暗い) 芦別の印象はまち並みが暗い。(仕事帰りに用をたすには不便で暗いイメージ)	
	その他	若年層(青年層)については、芦別への愛着度が弱い原因となり、まちづくり活動への不参加・非協力となって高齢者だけががんばる状態になっている。	

芦別市まちづくり市民アンケート
- 調査結果報告書 -

発行：芦別市

〒075-8711 北海道芦別市北1条東1丁目3番地
0124-22-2111

編集：芦別市総務部企画課まちづくり推進係